



彩の国
埼玉県



埼玉県のマスコット コバトン

平成30年度版

事業概要

<平成29年度実績>



埼玉県坂戸保健所

目 次

□ 埼玉県坂戸保健所の概要

1 沿革	1
2 所管区域とその概況	1
3 所管区域図	2
4 組織及び職員	3
5 人口の概況	4

□ 事業概要

◆ 総務・地域保健推進担当 ◆

1 衛生関係免許件数	6
2 地域保健医療計画の推進	7
3 学生実習・研修医の受入れ状況	8
4 健康づくり対策	9
5 地域保健	10
6 医療供給体制	12

◆ 保健予防推進担当 ◆

1 栄養・健康づくり・歯科保健	15
2 母子保健	19
3 難病対策	22
4 原子爆弾被爆者対策	24
5 石綿健康被害の救済	24
6 感染症対策	25
7 肝炎対策	29
8 精神保健福祉	30
9 保健師現任教育	33

◆ 生活衛生・薬事担当 ◆

1 医薬品・血液等の安全確保	34
----------------	----

(1) 薬務関係施設数及び監視状況	34
(2) 麻薬・覚せい剤関係	35
(3) 献血推進事業	35
2 食品の安全性確保	36
(1) 食品衛生関係営業	36
(2) 食中毒発生防止等の対策	37
3 生活環境の確保	38
(1) 衛生的な生活環境の確保	38
(2) 動物の適正な飼育管理	40

【参 考 資 料】

1 各種協議会等委員名簿	41
2 坂戸保健所管内各市町・保健センター一覧	44
3 坂戸保健所管内関係団体一覧	45
4 健康相談・各種検査等定例事業一覧	46

□ 人口動態統計	47
----------	----

□ 埼玉県坂戸保健所の概要

1 沿革

昭和53年9月1日、川越保健所管内北部地域（坂戸市、毛呂山町、越生町、鶴ヶ島町、鳩山町）の保健需要の増加に伴い、県下第3番目の保健所支所として対人保健サービスを充実させるため、川越保健所坂戸支所が開設された（所在地：坂戸市石井2327-1）。

平成3年7月1日、坂戸保健所が発足した。

平成9年4月1日、入間西福祉保健総合センターが、入間西福祉事務所と坂戸保健所相互の連携を強化する組織として設置された。

平成11年4月1日に同センターは、地域における福祉、保健及び医療の一層の連携を推進するために入間西福祉事務所を統合するとともに、保健所を含む福祉保健総合センターとして組織を一本化した。

平成18年4月1日には県内保健所の再編に伴い、新たに飯能市と日高市を坂戸保健所の管轄区域として加え、併せて飯能分室を設置した。

平成22年4月1日には、福祉保健総合センター・保健所の統合再編に伴い、入間西福祉保健総合センター（坂戸保健所併置）は廃止され、併せて坂戸保健所の所管区域から飯能市と日高市が分離された。

2 所管区域とその概況

所管区域は、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町及び鳩山町の2市3町からなっている。

人口は231,408人、世帯数は102,646世帯（平成30年1月1日現在）、面積は158.86km²である。

管内を高麗川、越辺川が西から東へ流れ、東側は肥沃な荒川低地、西側は外秩父山地の東縁部に当たり、北側は比企丘陵と変化に富んでいる。

鉄道は、東武東上線が鶴ヶ島市、坂戸市を南北方向に通じ、坂戸市分岐の東武越生線が毛呂山町を通過して越生町へ至っている。また、JR八高線が毛呂山町、越生町を南北方向に通っている。道路は、一般国道407号が管内交通網の基盤を成しており、関越自動車道と首都圏中央連絡自動車道の2本の高速道路が通っている。

人口構成をみると、0～14歳の年少人口の割合は、県平均12.5%に対して管内は11.6%と0.9ポイント低くなっている。一方、65歳以上の老年人口割合は、県平均25.5%に対して管内は29.3%と3.8ポイント高くなっている。（平成30年1月1日現在）

また、管内には、埼玉医科大学、明海大学、城西大学、日本医療科学大学、女子栄養大学、東京電機大学、西武文理大学など多数の大学があり、保健・医療関係等の人材育成や学術研究が進められている。

市 町 名	総人口 (人)	男 (人)	女 (人)	世帯数	面積 km ²
管 内	231,408	115,552	115,856	102,646	158.86
坂 戸 市	101,338	50,840	50,498	45,316	41.02
鶴ヶ島市	70,050	34,856	35,194	30,612	17.65
毛呂山町	34,207	17,088	17,119	15,703	34.07
越 生 町	11,813	5,899	5,914	5,045	40.39
鳩 山 町	14,000	6,869	7,131	5,970	25.73

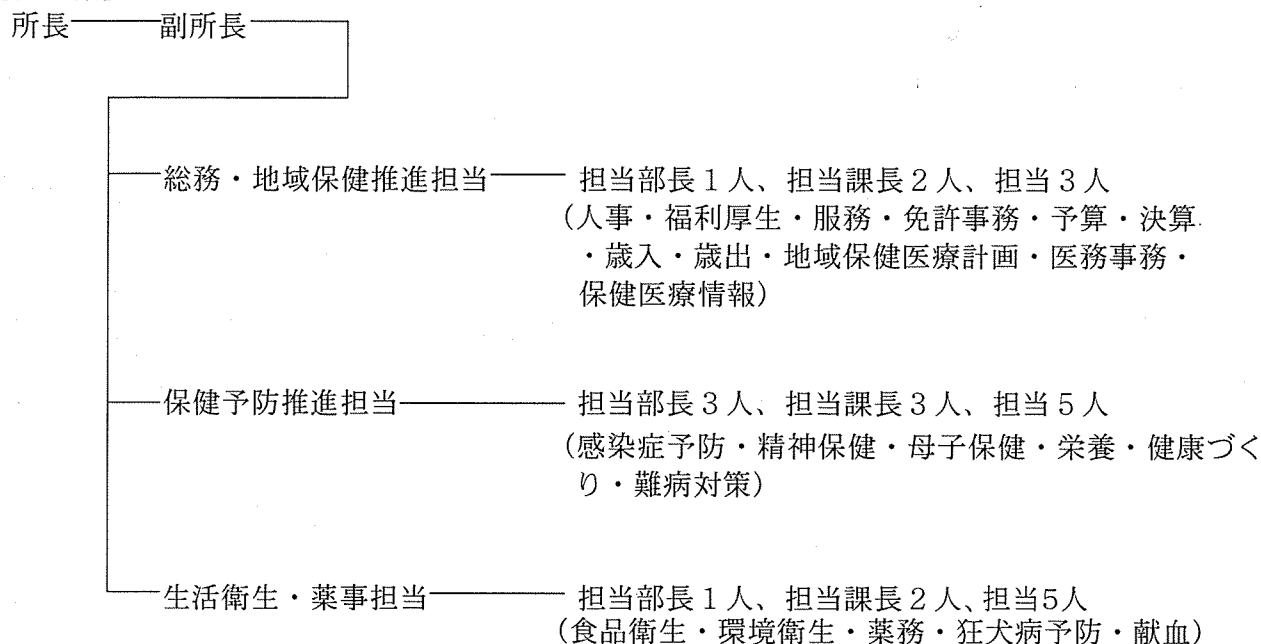
(平成30年1月1日埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告)

3 所管区域図



4 組織及び職員（平成30年4月1日現在）

【組織】



【職員数】

(人)

所長	副所長	担当部長	担当課長	主任	主事・技師	専門員	計
1	1	5	7	8	4	1	27

【職種別職員数】

職 種	職員数	職 種	職員数
一般事務職	9	保健師	6
医師	1	管理栄養士	1
薬剤師	4	精神保健福祉指導職	2
獣医師	3	動物愛護職	1
		合計	27

5 人口の概況

(1) 管内の人口の推移及び伸び率

(人、%)

	年	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成30年
人口の推移	埼玉県	5,863,678	6,759,311	6,938,006	7,054,243	7,194,556	7,266,534	7,362,941
	管内	196,987	235,819	235,456	237,210	238,586	235,263	231,408
	坂戸市	87,586	98,221	97,381	98,964	101,700	101,679	101,338
	鶴ヶ島市	49,381	66,208	67,638	69,783	69,990	70,255	70,050
	毛呂山町	34,467	39,808	39,711	39,122	39,054	37,275	34,207
	越生町	11,622	13,609	13,718	13,356	12,537	11,716	11,813
	鳩山町	13,931	17,973	17,008	15,985	15,305	14,338	14,000
伸び率	埼玉県	100.0	115.3	118.3	120.3	122.7	123.9	125.6
	管内	100.0	119.7	119.5	119.5	121.1	119.4	117.5
	坂戸市	100.0	112.1	111.2	113.0	116.1	116.1	115.7
	鶴ヶ島市	100.0	134.1	137.0	141.3	141.7	142.3	141.9
	毛呂山町	100.0	115.5	115.2	113.5	113.3	108.1	99.2
	越生町	100.0	117.1	118.0	114.9	107.9	100.8	101.6
	鳩山町	100.0	129.0	122.1	114.7	109.9	102.9	100.5

(注) 1 (a) 昭和60年・平成7・12・17・22・27年は、国勢調査人口。

(b) 平成30年は、「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」(平成30年1月1日現在)。

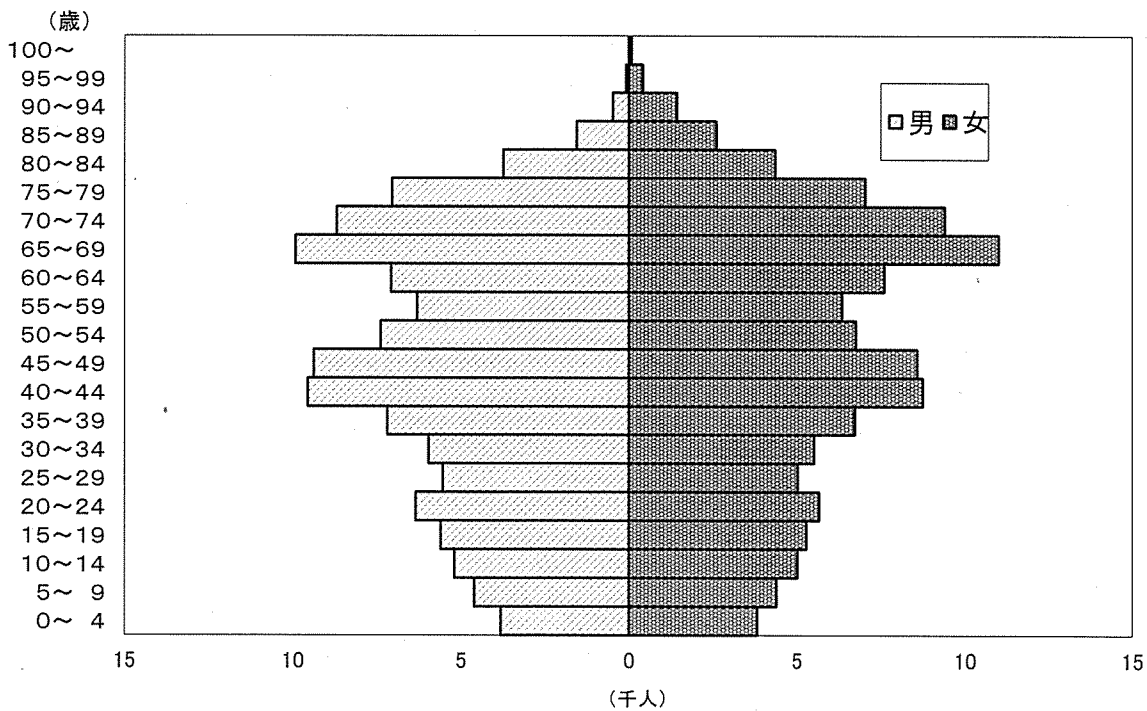
2 伸び率は、昭和60年を100として算出した人口の伸び率である。

(2) 管内の年齢階級別人口

(人、%)

年齢	総数		男		女		
		構成比		構成比		構成比	
0～4歳	7,636	3.30	3,815	3.30	3,821	3.30	
5～9歳	9,011	3.89	4,609	3.99	4,402	3.80	
10～14歳	10,216	4.41	5,197	4.50	5,019	4.33	
15～19歳	10,893	4.71	5,605	4.85	5,288	4.56	
20～24歳	12,023	5.20	6,350	5.50	5,673	4.90	
25～29歳	10,570	4.57	5,538	4.79	5,032	4.34	
30～34歳	11,483	4.96	5,963	5.16	5,520	4.76	
35～39歳	13,918	6.01	7,189	6.22	6,729	5.81	
40～44歳	18,306	7.91	9,562	8.28	8,744	7.55	
45～49歳	17,979	7.77	9,394	8.13	8,585	7.41	
50～54歳	14,156	6.12	7,395	6.40	6,761	5.84	
55～59歳	12,650	5.47	6,303	5.45	6,347	5.48	
60～64歳	14,676	6.34	7,074	6.12	7,602	6.56	
65～69歳	20,931	9.05	9,926	8.59	11,005	9.50	
70～74歳	18,104	7.82	8,704	7.53	9,400	8.11	
75～79歳	14,089	6.09	7,051	6.10	7,038	6.07	
80～84歳	8,104	3.50	3,743	3.24	4,361	3.76	
85～89歳	4,167	1.80	1,556	1.35	2,611	2.25	
90～94歳	1,912	0.83	483	0.42	1,429	1.23	
95～99歳	503	0.22	86	0.07	417	0.36	
100歳以上	81	0.04	9	0.01	72	0.06	
合計	231,408	100.00	115,552	100.00	115,856	100.00	
再掲	0～14歳	26,863	11.61	13,621	11.79	13,242	11.43
	15～64歳	136,654	59.05	70,373	60.90	66,281	57.21
	65歳以上	67,891	29.34	31,558	27.31	36,333	31.36

資料：埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告（平成30年1月1日現在）



□ 事業概要

◆ 総務・地域保健推進担当 ◆

1 衛生関係免許件数

平成29年度・管内

	免許種別	新規 登録	訂正 書換	再交付	消除 抹消	計
埼玉県 知事 免許	栄養士	203	13	0	0	216
	調理師	58	7	8	0	73
	クリーニング師	0	0	0	0	0
	製菓衛生師	3	1	0	0	4
	准看護師	6	6	2	0	14
	旧保健婦	—	0	0	0	0
	旧助産婦	—	0	0	0	0
	旧看護婦	—	0	0	0	0
	診療X線技師	—	0	0	0	0
	登録販売者	24	3	2	0	29
	小計	294	30	12	0	336
他 都道 府 県 知事 免許	准看護師	—	3	1	0	4
	旧保健婦	—	0	0	0	0
	旧助産婦	—	0	0	0	0
	旧看護婦	—	0	0	0	0
	小計	—	3	1	0	4
厚生 労働 大臣 免許	医師	23	12	0	2	37
	歯科医師	24	12	1	0	37
	診療放射線技師	10	1	0	0	11
	臨床検査技師	14	8	0	0	22
	衛生検査技師	—	0	1	0	1
	視能訓練士	1	1	0	0	2
	理学療法士	22	15	2	0	39
	作業療法士	7	4	0	0	11
	保健師	5	10	0	0	15
	助産師	10	0	0	0	10
	看護師	248	73	7	0	328
	薬剤師	18	8	2	0	28
	管理栄養士	32	6	0	0	38
小計	414	150	13	2	579	
合計	708	183	26	2	919	

*歯科技工士免許は、平成27年6月1日から一般財団法人歯科医療振興財団に移管。

*各種旧免許及び衛生検査技師の免許については、新たに免許を付与していないため「—」としている。

2 地域保健医療計画の推進

「生涯を通じた健康づくり体制の確立」「質が高く効率的な医療提供体制の確保と医療・介護サービス連携の強化」「安心・安全な暮らしを守る健康危機管理体制の構築」を基本理念とした本県の保健医療に関する総合的な計画として、第6次計画に続き、平成30年3月、新たに第7次埼玉県地域保健医療計画（以下「計画」という。）が策定された。この計画期間は、平成30年度から35年度までの6年間である。

併せて、川越市保健所、埼玉県坂戸保健所及び埼玉県東松山保健所の管轄区域（計14市町村）を圏域とする「川越比企保健医療圏」においても、6本の「圏域別取組」（生活習慣の改善を含む健康づくり対策の推進、歯科口腔保健対策、親と子の保健対策、健康危機管理体制の強化、精神保健福祉医療対策、在宅医療の推進）が策定され、関係機関において対策を推進することとしている。

(1) 埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療協議会

川越比企保健医療圏における取組及び地域医療構想の実現に向けた取組を推進するため、「埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会（以下「協議会」という。）」を設置している。この協議会は、協議会設置要綱に基づき、当坂戸保健所が事務局を務めている。平成29年度の開催状況は、協議会の下部組織である作業部会の開催を含め、次のとおりである。

開 催 日	議 題
平成29年12月22日(金)	<p>【埼玉県川越比企保健医療圏医療機能分化・連携推進部会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 平成28年度病床機能報告（川越比企保健医療圏）の結果について 2 データ分析業務委託の概要について 3 地域医療介護総合確保基金について (出席委員数：18人)
平成30年2月26日(月)	<p>【埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 川越比企保健医療圏医療機能分化・連携推進部会における議事の概要について 2 川越比企保健医療圏における第6次埼玉県地域保健医療計画「圏域別取組」の推進状況について 3 第7次埼玉県地域保健医療計画（案）について 4 川越比企保健医療圏における第7次埼玉県地域保健医療計画「圏域別取組（案）」について 5 新型インフルエンザ等対策について (出席委員数：24人)

(2) 保健・医療・福祉の情報収集、分析

住民の健康の保持、増進を図るため、所管区域の保健、医療、福祉に関する情報について、幅広く収集、管理、分析を行った。

3 学生実習、研修医の受入れ状況

学生、研修医を次のとおり受け入れ、保健所の機能、役割を理解するための講義、見学、実習等を行った。

平成29年度

学 校 名	実 習 期 間	一人当たりの の実習日数	人 数
西武文理大学 看護学部	4/28 5/15~29 5/22~26	6日	4人
日本医療科学大学 保健医療学部看護学科	4/28 6/12~16 6/26~30	6日	5人
女子栄養大学 栄養学部実践栄養学科	9/19~22, 25~28 10/3・5	10日	3人
城西大学 薬学部医療栄養学科	9/19~22, 25・26	6日	2人
東洋大学 食環境学部健康栄養学科	9/19~22, 25・26	6日	1人
埼玉医科大学病院 医師臨床研修	10/23~27	5日	2人
医療法人関越病院 医師臨床研修	11/27~12/1	5日	4人
明海大学歯学部附属明海大学病院 歯科医師臨床研修	9/21	1日	2人

4 健康づくり対策

衛生教育事業

衛生教育事業は、保健所活動のうちでも、地域住民が自らの健康問題を発見、解決し、健康な生活を送れるように支援していく上で、非常に重要かつ基本的な活動である。

衛生教育の実施形態としては、保健所自らが企画、実施するもののほか、市町や組織、団体からの依頼により実施するものなどがある。

平成29年度の実施回数は、総数43回、参加人数1,593人、1回当たりの参加人数は約37人となっている。

平成29年度

項 目	総 数	教 育 内 容 別												
		感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神	難 病	母 子	成 人 ・ 老 人	栄 養 ・ 健 康 増 進	歯 科	医 事 ・ 薬 務	食 品	環 境	そ の 他
回 数	43	5	1	0	1	1	0	-	12	-	3	20	1	-
参加人数	1,593	137	48	0	91	31	0	-	277	-	47	962	48	-

5 地域保健

(1) 健康増進

管内各市町が平成29年度に実施した医療以外の保健事業の実施状況は次のとおりである。

平成29年度地域保健・健康増進事業実施結果

項目		市町名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	
人口	総数		231,408	101,338	70,050	34,207	11,813	14,000	
	40歳以上		145,658	61,987	42,826	22,534	8,114	10,197	
	30歳以上(女)		86,621	37,183	25,919	13,047	4,646	5,826	
健康手帳	40～74歳		0	0	0	0	0	0	
	75歳以上		0	0	0	0	0	0	
健康教育	集団健康教育	開催回数	163	66	5	10	38	44	
		参加延人員	3,294	1,340	273	35	141	1,505	
健康相談	重点健康相談	開催回数	79	71	0	0	8	0	
		被指導延人員	146	71	0	0	75	0	
	総合健康相談	開催回数	127	45	9	33	34	6	
		被指導延人員	697	196	40	201	61	199	
機能訓練	指導実施回数		0	0	0	0	0	0	
	被指導実人員		0	0	0	0	0	0	
	被指導参加延人員		0	0	0	0	0	0	
訪問指導	被訪問指導実人員		53	3	0	1	29	20	
	被訪問指導延人員		65	4	0	1	40	20	
健康 診 査	胃がん 検診	男性	対象者数	30,000	12,840	9,188	4,941	1,958	1,073
			受診者数	1,790	302	691	144	250	403
			受診率	6.0	2.4	7.5	2.9	12.8	37.6
		女性	対象者数	31,856	13,474	9,636	4,983	1,892	1,871
			受診者数	2,020	397	844	166	255	358
			受診率	6.3	2.9	8.8	3.3	13.5	19.1
	大腸がん 検診	男性	対象者数	50,214	21,434	15,135	7,634	2,820	3,191
			受診者数	6,690	2,858	1,744	866	528	694
			受診率	13.3	13.3	11.5	11.3	18.7	21.7
		女性	対象者数	49,150	21,169	15,231	7,406	2,672	2,672
			受診者数	9,398	4,514	2,524	935	665	760
			受診率	19.1	21.3	16.6	12.6	24.9	28.4
肺がん 検診	男性	対象者数	48,593	21,434	15,135	7,634	2,820	1,570	
		受診者数	3,565	680	902	717	559	707	
		受診率	7.3	3.2	6.0	9.4	19.8	45.0	
	女性	対象者数	49,212	21,169	15,231	7,406	2,672	2,734	
		受診者数	4,047	832	1,230	689	649	647	
		受診率	8.2	3.9	8.1	9.3	24.3	23.7	
子宮がん 検診	対象者数		72,178	31,613	22,770	10,783	3,685	3,327	
	頸部	受診者数	4,541	2,202	1,348	593	284	114	
		2年連続受診者数	90	72	13	1	4	0	
	体部	受診者数	0	0	0	0	0	0	
受診率			7.0	5.9	5.5	7.7	3.4		
乳がん 検診	マンモ グラフィ	対象者数	49,107	21,169	15,231	7,406	2,672	2,629	
		受診者数	3,781	1,232	1,210	678	302	359	
		2年連続受診者数	53	38	0	12	3	0	
		受診率		5.8	7.9	9.2	11.3	13.7	

(注) 1 人口の総数は、平成30年1月1日現在の数値。

2 40歳以上、30歳以上(女)の人口は、平成30年1月1日現在の数値。

3 平成29年度地域保健・健康増進事業報告からの数値。ただし、概数である。

(2) 保健所別研修

市町村職員、保健所職員、その他地域の関係職員を対象に、職員の資質の向上を目的として研修を実施した。

開催日	内 容	参加者
平成30年 3月15日(木)	平成29年度医療安全研修会 坂戸保健所及び東松山保健所管内の病院等の職員を対象に、 インシデント報告書の分析手法を学ぶ研修会を実施した。 テーマ：インシデント報告書を活用するために ～原因分析手法を体験してみよう～ 講 師：埼玉医科大学病院 医療安全対策室 専従医療安全管理者 岡田直人氏 医療法人関越病院 医療安全管理室長 田口仁美氏 対象者：坂戸保健所及び東松山保健所管内の病院等職員 場 所：坂戸保健所（多目的ホール）	病院等職員 計21人

6 医療供給体制

(1) 医療施設の状況

病院は11施設3,006床となっている。また、診療所は一般診療所が136施設77床、歯科診療所が107施設となっている。

施設数

平成30年3月31日現在

種別 市町名	病 院						一般 診療所	歯科 診療所
	総数	一般	療養	精神	結核	感染症		
坂戸市	5	3	3	0	0	0	69	49
鶴ヶ島市	2	1	1	0	0	0	39	32
毛呂山町	3	3	0	3	0	1	15	16
越生町	0	0	0	0	0	0	7	4
鳩山町	1	0	1	0	0	0	6	6
管内計	11	7	5	3	0	1	136	107
県計	345	257	125	66	3	10	4,365	3,596
管内計／県計	3.2%	2.7%	4.0%	4.5%	0.0%	10.0%	3.1%	3.0%

(注)複数の病床種別を有する病院があるため、病院総数と種別病院数の合計が一致しない。

病床数(単位:床)

平成30年3月31日現在

種別 市町名	病 院						一般 診療所	歯科 診療所
	総数	一般	療養	精神	結核	感染症		
坂戸市	438	234	204	0	0	0	39	0
鶴ヶ島市	319	229	90	0	0	0	38	0
毛呂山町	1,939	1,184	0	749	0	6	0	0
越生町	0	0	0	0	0	0	0	0
鳩山町	310	0	310	0	0	0	0	0
管内計	3,006	1,647	604	749	0	6	77	0
病院種別割合	100%	54.8%	20.1%	24.9%	0.0%	0.2%		
県計	63,809	37,616	11,892	14,097	130	74	2,788	7
病院種別割合	100%	59.0%	18.6%	22.1%	0.2%	0.1%		
管内計／県計	4.7%	4.4%	5.1%	5.3%	0.0%	8.1%	2.8%	0.0%

(注)病院種別割合は、総数を100%とするため、種別の数値を調整してある。

(2) 救急医療体制

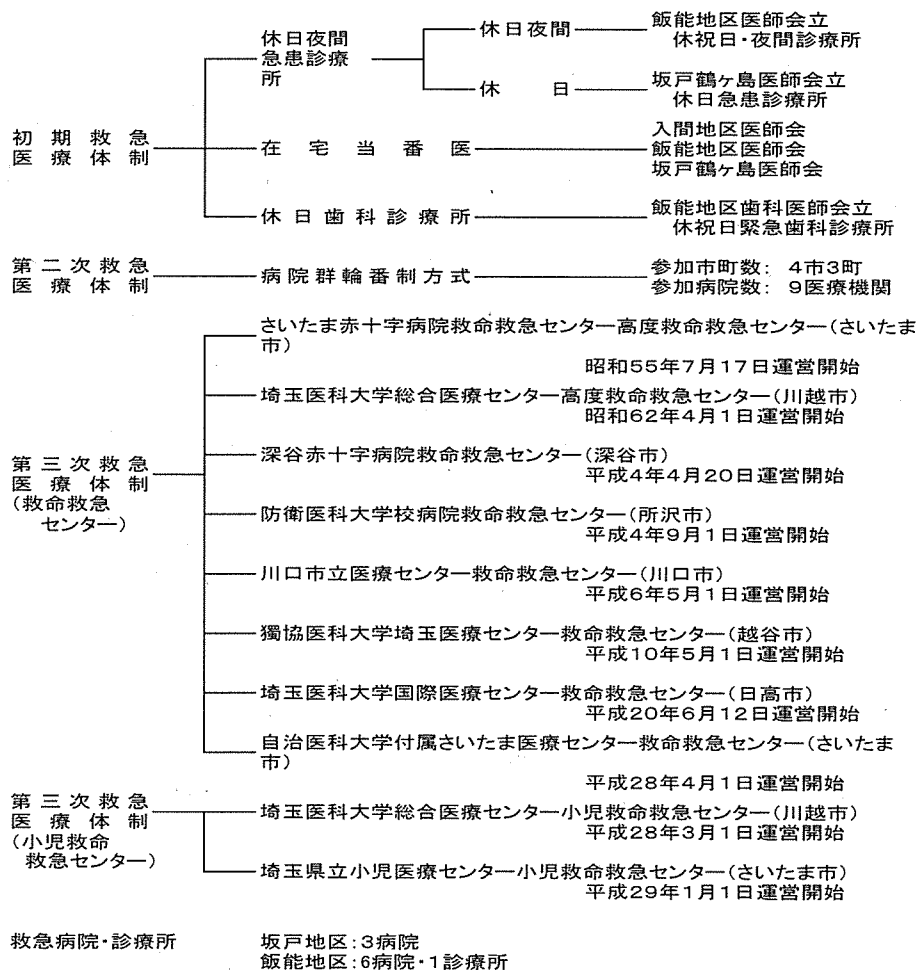
ア 坂戸・飯能地区救急医療対策協議会

飯能市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町及び鳩山町における救急医療体制の整備促進及び関係者との連絡調整等救急医療に関する諸問題を協議するために設置している。

協議会の委員は、市町の保健衛生部課所長、地区医師会代表者、地区歯科医師会代表者、第二次救急医療参加医療機関管理者、消防長及び保健所長等から構成されている。

平成29年度は平成30年3月22日に開催され、病院群輪番制等について協議した。

イ 坂戸・飯能地区救急医療体制（平成30年4月1日現在）



(3) 立入検査の状況

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を確保するため、医療施設（病院・有床診療所）が医療法その他の法令によって規定された人員及び構造設備を有し、適正な管理を行っているか等について立入検査を行っている。

平成29年度は、病院11施設と有床診療所2施設を対象に実施した。

(4) 施術所

施術所数は、平成30年3月31日現在265施設となっている。

市町村別、業務内容別、施術所数

項 目	施術所総数	業 務 内 容 別 内 訳		出張専業総数
		あん摩・マッサージ・ 指圧・はり・きゅう	柔道整復	
		施術所	施術所	
管 内	265	136	129	90
坂 戸 市	129	64	65	37
鶴ヶ島市	80	41	39	27
毛呂山町	36	22	14	15
越 生 町	10	4	6	5
鳩 山 町	10	5	5	6

◆ 保健予防推進担当 ◆

1 栄養・健康づくり・歯科保健

(1) 栄養指導等

健康増進法第18条及び「行政栄養士業務の基本指針」に基づき、地域住民の健康増進を図るため、専門的栄養指導及び食生活支援を実施した。

平成29年度(人)

指導対象	個別指導延べ人数				集団指導延べ人数			
	栄養 (病態別)	運動	禁煙	その他	栄養	運動	禁煙	その他
乳幼児	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳未満	—	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上	24	—	160	159	376	—	212	42
合計	24	—	160	159	376	—	212	42

(2) 給食施設指導

健康増進法20条及び埼玉県健康増進法施行細則に基づく特定給食施設等の届出受理や健康増進法第22条に基づく栄養管理指導等を実施した。

平成29年度(施設)

	特定給食施設		その他の給食施設	計
	1回100食以上又は1日250食以上	1回300食以上又は1日750食以上	1回50食以上又は1日100食以上	
給食施設指導延べ施設数	169	54	111	334

(3) 栄養関係団体育成

保健所管内の栄養関係団体に対し健康づくり活動に関する研修会を開催するとともに、健康づくりに関する普及啓発を目的とした活動を支援した。

平成29年度

実施内容	回数	延人数	会員の概要
坂戸保健所管内地域活動栄養士会「れもんの会」(研修会・定例会)	9	62	保健所管内地域活動栄養士 18人
坂戸保健所管内市町食生活改善推進員養成講座	2	42	各市町食生活改善推進員協議会会員 (坂戸市・鶴ヶ島市・毛呂山町・鳩山町)
坂戸保健所管内給食管理者研究会(研修会・役員会)	5	107	事業所・病院・福祉施設等の給食施設 47施設

(4) 食育推進事業

「食育推進計画（第3次）」の目標値や重点課題を踏まえ、効果的かつ実証可能な事業を実施した。

実施日	平成29年10月5日(木)
対象者	管内の給食施設に従事する管理栄養士・栄養士、地域活動栄養士
内容	<p>テーマ1 ～地域包括ケアシステムの構築において、栄養士は何をなすべきか～ 講話「地域包括ケアシステムにおける栄養ケアについて」 講師 丸木メディカルセンター 栄養部次長 平野孝則 氏 事例発表 「地域包括ケアシステムにおける病院栄養士の活動」 講師 関越病院栄養科 管理栄養士 池田祐子 氏</p> <p>テーマ2 ～児童福祉施設における塩分の目標値について～ 事例発表 「保育園における塩分目標値について」 講師 保育園めぐみ 栄養士 平田 恵 氏</p> <p>グループ討議 ～地域の栄養士の顔の見える関係づくりを目指して～ 参加者 給食関係栄養士45人、地域活動栄養士6人、行政3人 合計54人</p>

実施日	第1回 平成29年5月30日(火) 第2回 平成29年10月3日(火)
対象者	管内市町栄養・健康づくり担当者
内容	<p>管内市町栄養・健康づくり担当者会議 第1回 参加者 7名 各市町栄養・健康づくり事業の取組について 等 第2回 参加者 6名 災害時における市町の対応 等</p>

実施日	第1回 平成29年7月24日(月) 第2回 平成29年7月28日(金)
対象者	給食施設従事者
内容	<p>給食施設衛生講習会 講義 「給食施設における衛生管理について」 講師 (学)国際学院埼玉短期大学 非常勤講師 松岡 正 氏(7/24) 狭山保健所食品監視担当(7/28)</p> <p>事例発表「給食施設における塩分の目標値の設定について」 講師 特別養護老人ホームななふく苑 栄養士 安倍 初美 氏(7/28のみ)</p> <p>給食施設で提供している汁物の塩分測定 参加者 第1回 172名 第2回 53名</p>

(5) 健康長寿のための埼玉県地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防対策を推進するために、地域保健と職域保健の連携をより一層強化し、効果的な健康長寿推進体制を構築した。

ア 働く世代の健康づくり支援等健康課題対策支援事業

健康課題対策会議

実施日：平成30年1月9日(火)

参加者：市町村国保及び保健衛生主管課担当者 11名

内容等：「特定健診・保健指導の受診率向上の今年度の取組等について」

イ 特定健診受診率向上事業

特定健診受診率向上チラシ配布

実施日：平成29年5月～平成30年3月 月1回

参加者：食品衛生許可更新施設 156施設

内容等：チラシ配布

ウ 効果的な保健指導実施支援事業

①「地域保健セミナー」

実施日：平成29年8月23日(水)

会場：狭山保健所

参加者：市町国保及び保健衛生主管課担当者等 32名

内容等：講義「第2期データヘルス計画策定に向けて」

講師 生活習慣病予防研究センター代表 岡山 明 氏

②「フォローアップ研修会」

実施日：平成30年1月29日(月)

会場：狭山保健所

参加者：市町国保及び保健衛生主管課担当者等 24名

内容等：講義「第2期データヘルス計画策定に向けてのポイントについて」

講師 国立保健医療科学院 横山 徹爾 氏

③「西部地域保健所合同研修会」

実施日：平成29年12月12日(火)

会場：川越地方庁舎

参加者：管内各市町担当職員（国保・保健）、事業所等の総務・福利厚生担当及び健康管理担当、地域活動栄養士等 59名

内容等：①事例発表「健康保険組合診療所と給食現場の連携による取組み」

講師 トッパングループ健康保険組合朝霞診療所 保健師 大富 みゆき 氏

②事例発表「減塩とおいしさの両立を目指した取組」

講師 特別養護老人ホームななふく苑 管理栄養士 安倍 初美 氏

③塩分測定結果報告

④講演「働き盛り世代の健康管理最前線～働き世代だからこそ健康管理に優先度をシフト～」

講師 自治医科大学客員教授／内閣府経済財政諮問会議専門委員
医学博士 古井 祐司 氏

(6) 受動喫煙対策

受動喫煙対策の一環として、「埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設」の認証制度の推進を図った。

- ① 全面禁煙・分煙実施施設認証制度の周知
実施日：平成29年5月～平成30年3月 月1回
対象者：食品衛生許可更新施設 156施設
内容等：チラシ配布

- ② 全面禁煙・分煙実施施設の認証
保健・福祉・医療機関、教育関係機関、文化・運動施設、飲食店等、その他民間施設・官公庁等 合計 289施設

- ③ 受動喫煙防止等研修会
実施日：平成29年11月21日(火)
参加者：食品衛生責任者 212名
内 容：受動喫煙防止対策の国の動向、受動喫煙の健康被害等

(7) 歯科保健

保健所と管内市町村、地域の歯科医師会等関係団体との連携を図り、歯科口腔保健の向上のための取組みを推進することを目的に、保健所歯科保健所口腔保健連携会議を開催した。

実施日	平成29年11月16日(木)
参加者	入間郡市歯科医師会（坂戸鶴ヶ島歯科医師会）、比企郡市歯科医師会 管内市町歯科口腔保健関係者（保健・高齢福祉）、保健所職員等 30名
内 容	坂戸保健所管内歯科口腔保健連携会議 第1部 講義 （1）「埼玉県歯科医師会の取組みについて」 埼玉県歯科医師会 川口 浩 先生 （2）「口腔崩壊」 山田整形外科医院 山田 洋孝 先生 第2部 グループディスカッション テーマ「管内の歯科口腔保健の推進に向けて」

2 母子保健

(1) 子どもの心の健康相談

児童、家族またはその児童に関わる関係者を対象として、小児精神保健医療に関する専門相談を実施している。

平成29年度

実施回数	来所実件数	来所延べ件数	来所延べ人員
22	27	52	198

* 来所延べ人員に關係者を含む。

来所者状況（延べ数）

来所時年齢	来所者状況（延べ数）		相談内容	相談内容	
	件数	延べ数		件数	延べ数
0～6歳	4	4	行動の問題	39	39
7～12歳	83	83	心理的問題	3	3
13～15歳	37	37	社会化の問題	52	52
16歳～	—	—	身体化症状	9	9
計	124	124	食行動の問題	9	9
相談結果	経過観察	29	排泄の問題	3	3
	他機関紹介	17	睡眠の問題	6	6
	対応方法の助言	39	習癖の問題	6	6
	その他	11	発達の問題	49	49
※ 相談内容及び相談結果は複数該当のため合計数はカウントしていない。			小児期のうつ	—	—
			小児期の精神病	—	—
			その他の精神病	1	1
			家族機能の問題	34	34
			関係者の対応	46	46
			その他	20	20

(2) 子どもの心のネットワーク事業

関係機関の連携の強化、小児精神保健医療に関する情報の収集と共有等を目的に、会議および研修会を実施している。

ア 小児精神保健医療推進連絡会議

平成29年度

開催月日	内 容	参加人数
平成30年 1月31日	情報提供・意見交換 テーマ「子どもの心の健康相談の利用状況」	34

イ 子どもの心の問題に関する研修会

平成29年度

開催月日	内 容	参加人数
平成30年 1月31日	講義・パネルディスカッション 「困っている子とその家庭への支援を考える」 講師 光の家療育センター 鈴木郁子医師 パネラー 管内市町小中学校教諭・家庭児童相談員等	34

(3) ふれあい親子支援事業

育児への不安等を抱える家族に対して臨床心理士、保健師等がチームでグループミーティングを行い、良好な親子の関係づくりを目的としている。

平成29年度

実施回数	来所実人員	来所延べ人数	カンファレンス延べ件数
12	親7 子3	親37 子13	75

関係者向け研修会

新任期・中堅期保健師研修とあわせて実施した。

平成29年度

開催月日	内 容	参加人数
平成29年 12月25日	「あなたの心のつぶやきを知ろう～キレてないっすヨ～」 助言者 臨床心理士 小笠原 美江 氏	15

(4) 長期療養児教室

疾病により長期療養を必要とする児童の療養生活に関する指導や、保護者同士の情報交換等を行ない、長期療養児童の地域における健やかな成長発達を支援することを目的に実施している。

平成29年度

開催月日	内 容	参加人数
平成29年 10月10日	講演会「特別支援学校ってどんなところ？」 対象 肢体不自由特別支援学校への就学を考えている お子さんの家族及び関係者	2

(5) 母子保健連携調整推進会議及び妊娠期からの虐待予防強化事業
市町および医療機関等の連携強化を目的として開催している。

平成29年度

開催月日	内 容	参加人数
平成29年 5月16日	母子保健担当者会議 情報交換	12
平成29年 11月9日	ウエルカムベイビープロジェクト 子育て地域包括支援センター	11
平成29年 6月5日	研修会 「面接の技術～事例をもとに考える～」 講師 臨床心理士 菊地 礼子氏	38
平成30年 3月5日	母子保健担当者会議 情報交換 管内市町事業について 事例検討会 2事例 講師 臨床心理士 菊地 礼子氏	27

(6) 不妊治療費助成事業

平成16年4月1日から、特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）や男性不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、医療保険が適用されない配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成している。

平成29年度申請件数 159件

(7) 結核児童療育給付

骨関節結核、その他の結核にかかっている児童に対して、医療の給付及び学習用品や日用品の支給が行われている。平成29年度の療育給付申請はなかった。

(8) 相談・指導状況

ア 訪問指導

平成29年度

		妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児	幼児	学齢期	計
訪問	実人員	—	2	—	—	1	4	18	25
	延べ人員	—	2	—	—	1	4	25	32

イ 保健指導

平成29年度

		妊婦	産婦	乳児	幼児	学齢期	計
保健指導	実人員	—	—	4	11	34	49
	延べ人員	—	—	8	20	52	80

ウ 電話相談

延べ人員 565人

3 難病対策

(1) 指定難病等医療給付事業受給者状況

「難病の患者に対する医療等に関する法律」が平成27年1月から施行され、医療費助成制度が変更になった。

原因が不明で治療方法が確定していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が指定する疾病を「指定難病」といい、県単独の指定難病等とともに医療給付を行い、適正な医療の普及と患者の医療費の負担軽減を図っている。

平成30年3月31日現在

	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
国指定難病	1558	649	457	257	89	106
県指定難病	4	1	2	0	1	0
特定疾患	4	0	4	0	0	0
計	1566	650	463	257	90	106

(2) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況

児童福祉法第19条の2に基づき、児童等の慢性疾病のうち国が指定した疾病の医療にかかる費用の一部を県が助成し、児童等の家庭の医療費の負担軽減を図るもので、平成27年1月から医療費助成制度が変更になった。

平成29年度受給者数

疾患番号	疾患名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
1	悪性新生物	36	18	11	4	1	2
2	慢性腎疾患	23	11	7	2	0	3
3	慢性呼吸器疾患	10	4	4	2	0	0
4	慢性心疾患	51	25	16	4	2	4
5	内分泌疾患	46	28	12	5	0	1
6	膠原病	5	2	3	0	0	0
7	糖尿病	16	6	6	2	0	2
8	先天性代謝異常	2	0	1	1	0	0
9	血液疾患	8	4	2	0	0	2
10	免疫疾患	2	2	0	0	0	0
11	神経・筋疾患	10	3	4	2	1	0
12	慢性消化器疾患	15	7	6	1	1	0
13	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	2	0	1	1	0	0
14	皮膚疾患	1	0	0	1	0	0
	合計	227	110	73	25	54	14

(3) 先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者状況

平成30年3月31日現在

疾患 番号	疾患名	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
99	先天性血液凝固因子欠乏症	8	5	2	1	0	0

(4) 相談・指導状況

平成29年度

		指定難病	小児慢性特定疾病	血液凝固因子欠乏症等
相談	実人員	1,904	211	8
	延べ人員	1,996	279	8
訪問	実人員	6	1	—
	延べ人員	11	2	—

(5) 研修会

難病制度や社会資源について理解を深めるとともに、関係機関の連携強化を目的に支援者を対象とした研修会を開催した。

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
平成30年 2月27日	病院における難病患者の在宅療養支援 ～神経難病患者への関係機関連携を中心に～ 埼玉医科大学病院 医療ソーシャルワーカー 長谷部 陽子 氏	関係者 31

(6) 患者・家族会

管内パーキンソン病患者家族会「すずらの会」と管内ALS患者家族会「すみれの会」への支援を行った。いずれの会も、月1回、学習会や情報交換・レクリエーション等のプログラムを作成し自主的に活動している。

平成29年度

グループ名	開催回数	参加人数(延べ)
すずらの会	4	16
すみれの会	12	97

(7) 難病対策地域協議会

難病患者への支援体制の整備を図るため、平成29年度から川越比企保健医療圏の難病対策地域協議会を開催した。

平成29年度		
開催日	内 容	参加人数
平成30年 2月2日	1. 指定難病等の医療給付制度、難病対策事業について 2. 保健所の難病対策事業について 3. 当医療圏における難病対策について	委員 22 ワザハ 3 事務局 7

4 原子爆弾被爆者対策

広島市、長崎市への原子爆弾投下による被爆者手帳所持者に対し、医療費支給及び健康管理手当等の各種申請の受理を行った。

各種手当等申請件数 17件

5 石綿健康被害の救済

石綿による健康被害を受けた本人又はその遺族のうち、労災補償等の対象とならない者に対し迅速な救済を図ることを目的として、「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づき、救済給付の支給を行っている。

対象となる疾病は、従前からの①石綿による中皮腫、②石綿による肺がんに加え、平成22年7月1日から③著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺、④著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚が追加になった。

なお、この制度の開始（平成18年3月27日）以前に、これらの疾病のいずれかで死亡した遺族についても、給付の請求をすることができる。

平成29年度	
相 談	申請書受付
3件	0件

6 感染症対策

平成11年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（感染症新法）が施行され、一～五類感染症に類型化された。

平成19年3月31日に結核予防法が廃止され、同年4月1日から、結核は二類感染症となった。

(1) 感染症発生届及び健診等の状況

ア 感染症発生届の状況

平成29年度

類 型	届出件数	管内	管外	備 考
一類感染症	0	0	0	
二類感染症	34	34	0	届出は、全て結核
三類感染症	3	3	0	
四類感染症	6	6	0	
五類感染症	22	—	—	

イ 三類感染症接触者等の健康診断（保菌検査）状況

平成29年度

類 型	接触者数	
三類感染症	17	腸管出血性大腸菌感染症、細菌性赤痢

(2) エイズ及びその他の性感染症対策

エイズ・性感染症対策推進のため、保健所では相談窓口を設け、電話相談等に応じるとともに、平日の月2回HIV抗体検査とその他の性感染症検査を実施している。

また、HIV抗体検査については、より多くの人を受診しやすいように、夜間に月1回実施している。

ア 相談件数

平成29年度

相談件数	内 訳（件数）	
	面 接	電 話
591	318	273

イ HIV抗体・その他の性感染症検査実施状況

平成29年度

検査項目	検査件数			陽性件数			備考
	計	男性	女性	計	男性	女性	
HIV 夜間HIV（再掲）	159 (13)	94 (11)	65 (2)	0	0	0	
梅毒	146	83	63	0	0	0	
クラミジア	145	83	62	25	9	16	
HBV	142	78	64	1	1	0	
HCV	142	78	64	1	0	1	

(3) 結核対策

ア 管理検診及び接触者健診状況

結核登録患者で、医学的状況を把握する必要のある者及び感染性結核患者の家族及び接触者に対し、健康診断を実施している。

平成29年度（人）

項目	受診者数	ツベルチン反応	IGRA検査	直接撮影	喀痰	健診結果	
						患者発見数	潜在性結核感染症発見数
管理検診	3(0)	—	—	3(0)	—	0	—
接触者健診	226(24)	4(4)	178(21)	57(12)	—	0	27

※（ ）は受診券利用者再掲

イ 新登録患者数

(7) 年齢別、市町別

平成29年1月1日～平成29年12月31日（人）

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
計	34	22	4	4	2	2
0～9歳	2	2	0	0	0	0
10～19歳	0	0	0	0	0	0
20～29歳	9	9	0	0	0	0
30～39歳	2	2	0	0	0	0
40～49歳	1	0	0	0	1	0
50～59歳	1	1	0	0	0	0
60～69歳	4	1	1	1	1	0
70歳～	15	7	3	3	0	2

(潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。)

(イ) 感染性分類、市町別

平成29年1月1日～平成29年12月31日(人)

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
計	16	8	4	2	0	2
喀痰塗抹陽性	5	4	0	0	0	1
その他菌陽性	4	1	1	1	0	1
菌陰性	4	2	1	1	0	0
肺外結核	3	1	2	0	0	0

(潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。)

ウ 結核登録患者数

平成29年12月31日末現在(人)

	総数	肺結核活動性			肺外結核 活動性	不活動性 結核	活動性 不明
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 菌陽性	登録時 菌陰性・ その他			
管内	50	4	5	2	2	37	0
坂戸市	21	2	1	1	1	16	0
鶴ヶ島市	12	0	1	0	1	10	0
毛呂山町	11	0	2	1	0	8	0
越生町	2	1	0	0	0	1	0
鳩山町	4	1	1	0	0	2	0

(潜在性結核感染症、非結核性抗酸菌症は除く。)

エ 結核に関する個別支援

(7) 相談・訪問指導状況

平成29年度

相談		訪問指導			
電話 (延べ人員)	来所 (延べ人員)	実人員	(再掲) DOTS	延べ人員	(再掲) DOTS
280	45				

DOTS：服薬支援を軸とした患者支援

(イ) 地域DOTSカンファレンス

服薬支援を実施するにあたり、患者の中断リスクを評価し、支援内容について検討している。

平成29年度

開催回数	支援区分別対象者数			A：原則毎日支援を要す B：週1回程度の支援を要す C：月1～2回程度の支援を要す
	A	B	C	
14回	1	18	23	

(4) 感染症に関する講演会・研修会

ア 感染症対策に関する研修会

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
平成29年 6月29日	「嘔吐時の対応について」 坂戸保健所 感染症担当保健師	坂戸市学童保育の 会 59人
平成29年 12月11日	「集団における感染症対策について」 講師 埼玉医科大学病院 感染症管理認定看護師 吉原みき子 氏	管内高齢・障害者 施設職員 17人
平成30年 1月16日	「集団感染を防ぐ対応について ～呼吸器感染症を中心に～」 防護服着脱訓練 坂戸保健所 感染症担当保健師	管内市町、坂戸保 健所保健師 8人
平成30年 1月29日	「感染症対策について」 坂戸保健所 感染症担当保健師	管内美容生活衛生 同業組合員 48人

イ 性感染症に関する講演会

エイズ及び性感染症についての誤解や偏見を解消し、正しい知識の普及を図るため、管内特別支援学校の依頼に基づき健康講座を実施した。

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
平成30年 2月22日	「知っておきたい感染症mini講座」 坂戸保健所 感染症担当保健師	坂戸ろう学園 高等部3年生・ 職員 15人

7 肝炎対策事業

(1) 肝炎治療医療費助成制度

埼玉県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づき、平成20年4月から医療費助成制度が開始された。

肝炎治療医療費助成申請件数

平成29年度

	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	合計
3剤併用療法を除くインターフェロン治療（新規申請）	4	1	1	0	0	6
3剤併用療法を除くインターフェロン治療（2回目申請）	0	0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療（新規申請）	18	31	18	10	1	78
インターフェロンフリー治療（再治療申請）	2	1	5	3	0	11
新規申請（核酸アナログ製剤）	1	4	4	0	1	10
更新申請（核酸アナログ製剤）	50	23	17	10	9	109
合計	75	60	45	23	11	214

(2) 肝炎対策推進事業（重症化予防事業）

平成29年度（件数）

フォローアップ主体	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	埼玉医科大学	保健所
フォローアップ同意者（新）		2					
初回精密検査費用助成		2					
定期検査費用助成							10

8 精神保健福祉

保健所が実施する精神保健福祉事業は、ここ数年大きく変化してきている。従来は、統合失調症を中心とした疾病理解や、障害者の地域活動の拡大など普及や啓発に力点を置いた事業を展開してきたが、生活環境・社会構造の変化や、諸外国にも例を見ない急速な少子高齢化を迎え、ライフサイクルに適応した事業展開が求められている。

また、国、県及び市町村は、全国の自死者年間約2.1万人という状態を重要な問題として捉え、「自死者ゼロ」を目指して様々な取組を実施してきている。当保健所においては社会的入院を余儀なくされている方々などへの支援として、関係機関との連携の下に地域移行支援事業も実施している。

平成22年度の県内保健所再編に伴い、川越市保健所管内における精神保健福祉法第27条及び29条等（精神障害者の措置入院に関する事）に関する業務と、医療保護入院の届出などが坂戸保健所の業務となっている。

(1) 市町、関係機関等との会議・研修等

管内関係機関との連携強化を目的に、坂戸保健所管内精神保健福祉連絡会議を開催した。また、受け入れ条件が整えば病院から退院可能である精神障害者の円滑な地域移行を推進するため、精神障害者地域移行・定着支援連絡会を開催した。

平成29年度

事業名	開催回数	内 容	参加人数
精神保健福祉連絡会議	1回	事業計画・事業報告等	20名
精神保健福祉法に係る事務担当者会議	1回	法定書類事務	48名

平成29年度

事業名	開催月日	内 容	参加人数
地域移行・定着支援連絡会議	平成29年 6月28日	平成29年度第1回精神障害者地域移行・定着支援研修会「地域移行定着支援における地域機関の連携」	20名
	平成30年 2月16日	坂戸保健所管内地域包括ケアシステム等の体制における検討会	23名

(2) 坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業（措置入院者の退院後支援検討会）

措置入院等により精神科病院入院時に保健所が関わった精神障害者について、円滑な地域移行を図るため、坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業を実施した。

平成29年度

事業名	開催回数	内 容	延べ参加者
坂戸保健所精神障害者地域移行支援事業	8回	地域移行支援会議にて退院に向けた個別支援計画を検討（32事例）	32名

(3) 自殺・うつ予防対策

自殺対策基本法に基づき、自殺予防・うつ対策に必要な知識を深め、地域ぐるみで心の健康づくりに取り組むため、住民を対象に市町と共催して講演会を開催した。

また、自殺対策に関する正しい理解と知識の普及を促進するため、鉄道会社の自殺予防キャンペーンへの参加、管内各市町実施のゲートキーパー養成講座に協力した。

平成29年度

事業名	開催回数	内容	延べ参加者
メンタルヘルス講演会 (管内市町と共催)	1回	講演 「プラス思考トレーニング～前向きに生きる方法～」 ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役 安藤 亘氏	91名

(4) 精神保健相談及び訪問指導

面接及び電話等相談は、保健師と精神保健福祉相談員が随時対応している。

訪問指導は、家族や本人の了解を前提に、本人の病状並びに家庭や生活環境の実態を把握し、受診や療養、社会復帰や生活支援等について助言指導を行っている。

平成29年度 (件)

面接相談										電話相談	訪問指導											
実 人 員	延 べ 人 員	延べ人員内訳								延 べ 人 員	実 人 員	延 べ 人 員	延べ人員内訳									
		老人 精神 保健	社会 復帰	アル コ ール	薬 物	ギ ャ ン プ ル	思 春 期	健 康 づ く り	摂 食 障 害				そ の 他	老人 精神 保健	社会 復帰	アル コ ール	薬 物	ギ ャ ン プ ル	思 春 期	健 康 づ く り	摂 食 障 害	そ の 他
113	168	9	31	7	2	2	5	104	2	6	432	69	122	4	3	2	0	0	1	86	0	26

(5) ひきこもり相談

ひきこもりの状態にある本人及び家族からの相談に、保健師並びに精神保健福祉相談員等が随時相談に応じている。また、随時相談で受け付けた相談の中から、専門的な相談が必要と判断された場合、臨床心理士等が相談に応じている。

当保健所は、ひきこもりの方を持つ家族を対象とした家族の集い（マロウドの会）への支援を継続的に行っており、マロウドの会と共催で自主講演会を毎年実施している。

また、平成23年度からは、ひきこもり当事者の自主的なグループ活動（まどベクラブ）も開催されている。

平成29年度

内容	件数		
	来所	電話	訪問
ひきこもり随時相談	11	24	8
ひきこもり専門相談	回数		延べ参加者
	3		5名
ひきこもり家族教室（マロウドの会）	12	217名	
当事者の集い（まどベクラブ）	12	47名	
マロウドの会講演会（保健所共催） （平成29年12月3日） 講演 「ひきこもる子の心・親の心～つながりを求めて～」 講師 埼玉県スクールカウンセラー 坂戸市教育センターカウンセラー 朝霞保健所・非常勤相談員 竹中 麻理子氏	「ひきこもり」「不登校」の子どもを持つ親の自助グループであるマロウドの会と共催で、同じ悩みを持つ当事者や家族、支援者を対象に講演会を実施した。 参加者 80名		

（6）社会復帰の支援

精神障害者の希望に応じ、その障害の状態を踏まえて、適切な施設や福祉制度・サービスの利用ができるよう相談に基づき調整を行っている。

また、保健所では、社会復帰事業として、一般の事業所に協力を求め、実際の職場で生活指導や職業訓練を受ける社会適応訓練事業を行っているが、平成29年度の利用者は0人であった。

（7）申請・通報等

措置入院とは、精神疾患によって自傷他害のおそれのある者を複数の精神保健指定医の診察の結果、入院治療の必要が診断された場合に行政措置して入院させるものである。

しかし精神医療の入院等には、疾病の性格上、本人の意志に反し医療や保護を加える場合が少なくないために「精神保健福祉法」で人権に対する格段の配慮や規制が定められている。

平成22年度から、川越市保健所管内で発生した精神保健福祉法第22条から第26条2項等の通報・届出は坂戸保健所が対応することとなっている。

平成30年3月31日現在（件）

区分	申請・通報件数	指定医の診察	診察結果	
			非該当	該当
計	88	62	16	46
22条	0	—	—	—
23条	59	55	15	40
24条	7	7	1	6
26条	22	0	—	—
26条の2	0	—	—	—

（埼玉県精神科救急情報センター対応事例を含む）

9 保健師現任教育

(1) 県・市町保健師連絡調整会議

平成29年度「県・市町村保健師連絡調整会議」開催要領に基づき、保健師の資質向上を図り、県民の健康福祉サービスの向上に寄与することを目的に会議を実施した。

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
第1回 平成29年 6月22日	地域別会議 ・保健師の配置状況	12
第2回 平成30年 1月16日	・現任教育の現状と課題 ・平成29年度人材育成について	9

(2) 新任期・中堅期保健師研修会

新任期及び中堅期の保健師を対象に、保健師の資質向上を目的に研修を実施した。

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
平成29年 12月25日	テーマ：「あなたの心のつぶやきを知ろう ～キレてないっすヨ～」 内 容：ロールプレイ 講 師：臨床心理士 小笠原美江 氏	15

(3) 全体研修会

管内の保健師を対象に保健活動について研修会を実施した。

平成29年度

開催日	内 容	参加人数
平成30年 1月16日	テーマ：「集団感染を防ぐ対応について ～呼吸器感染症を中心に～」 内 容：講義、防護服着用演習 講 師：坂戸保健所 感染症担当保健師	8

◆ 生活衛生・薬事担当 ◆

1 医薬品・血液等の安全確保

(1) 薬務関係施設数及び監視状況

医薬品等や毒物劇物は、安全・有効で、一定の品質が保持され、かつ、適正に供給されなければならない。そのため、販売業者、使用者等に随時立入検査を行い、不良品、不正表示品等を排除し、これらによる危害の防止を図った。

平成29年度

業	種	施設総数	新規数	更新数	監視数
合	計	693	66	49	141
薬	局	108	8	13	38
	医薬品製造業(薬局)	8	0	4	4
	医薬品製造販売業(薬局)	8	0	4	4
小	計	485	49	15	70
医薬品等販売業	店舗販売業	45	6	2	16
	卸売販売業	11	1	2	3
	再生医療等製品販売業	1	0	0	0
	高度管理医療機器販売業	96	13	8	27
	高度管理医療機器貸与業	42	6	3	8
	管理医療機器販売業	276	22	—	16
	管理医療機器貸与業	14	1	—	0
毒物	計	16	0	3	12
	大臣登録分	5	0	0	6
	知事登録分	11	0	3	6
	計	4	1	0	0
	大臣登録分	3	0	0	0
	知事登録分	1	1	0	0
劇物	計	63	8	10	13
	一般販売業	54	8	9	12
	農業用品目販売業	9	0	1	1
	特定品目販売業	0	0	0	0
	業務上取扱者	1	0	—	0

(2) 麻薬・覚せい剤関係

麻薬・覚せい剤等による保健衛生上の危害を防止するため、医療用又は研究用に使用される麻薬等を取り扱う者の免許・許可を行い、また、関係施設に対し報告を徴し立入検査を実施した。

また、これらの薬物の乱用を防止するために埼玉県坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会と協力して、研修会、街頭啓発活動を行った。

麻薬取扱者数 平成29年度

計	卸売業者	小売業者	研究者	管理者	施用者
1,416	3	187	8	63	1,155

麻薬取扱施設 平成29年度

	計	卸売販売業	薬局	病院	診療所	飼育動物診療施設	研究施設
施設数	363	3	187	35	98	32	8
監視数	132	2	83	38	7	2	0

※ 埼玉県坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会

平成22年6月に設立され、埼玉県知事から委嘱を受けた薬物乱用防止指導員30人で構成されている。

啓発活動の状況 平成29年度

事業	研修会	講習会	街頭啓発活動等
実施回数	2	14	31
参加人員等	67	4,936	20,753

(3) 献血推進事業

良質で安全な血液の安定的な確保のため、需要に見合った採血計画の基に、献血の推進を図った。

市町別献血事業実績（移動採血車による） 平成29年度

項目	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
献血者数	2,657	923	801	579	185	169

2 食品の安全性の確保

(1) 食品衛生関係営業

ア 食品衛生法に基づく許可施設数（市町別）

平成29年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	3,163	1,319	974	548	174	148
飲 食 店 営 業	1,789	761	539	323	89	77
内 (一般食堂・レストラン等)	612	225	185	121	48	33
(仕出し屋・弁当屋)	52	19	15	12	2	4
(旅 館)	16	4	6	4	2	0
訳 (そ の 他)	1,109	513	333	186	37	40
喫 茶 店 営 業	226	100	75	27	10	14
菓 子 製 造 業	212	76	67	43	16	10
あ ん 類 製 造 業	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	0	0	0	0	0	0
乳 処 理 業	0	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0	0
乳 製 品 製 造 業	0	0	0	0	0	0
集 乳 業	0	0	0	0	0	0
乳 類 販 売 業	389	165	119	66	22	17
食 肉 処 理 業	12	4	4	1	1	2
食 肉 販 売 業	226	92	77	36	12	9
食 肉 製 品 製 造 業	2	2	0	0	0	0
魚 介 類 販 売 業	209	84	73	31	13	8
魚介類せり売営業	0	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	19	9	8	2	0	0
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	3	0	0	2	1	0
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0	0
氷 雪 製 造 業	0	0	0	0	0	0
氷 雪 販 売 業	3	2	0	1	0	0
食用油脂製造業	0	0	0	0	0	0
マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0	0	0
み そ 製 造 業	10	3	1	2	0	4
醬 油 製 造 業	1	1	0	0	0	0
ソ ー ス 類 製 造 業	3	1	1	1	0	0
酒 類 製 造 業	3	0	0	1	2	0
豆 腐 製 造 業	11	6	1	2	2	0
納 豆 製 造 業	1	0	0	1	0	0
め ん 類 製 造 業	16	4	2	3	4	3
そうざい製造業	24	7	6	5	2	4
缶詰又は瓶詰食品製造業	2	2	0	0	0	0
添 加 物 製 造 業	2	0	1	1	0	0

イ 食品衛生に関する条例に基づく許可施設数（市町別）

平成29年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	674	243	172	118	94	47
菓子種製造業	1	1	0	0	0	0
こんにゃく類製造業	7	0	1	4	0	2
つけ物製造業	58	3	2	9	36	8
魚介類加工業	4	2	2	0	0	0
食料品販売業	600	233	167	105	58	37
魚介類行商	0	0	0	0	0	0
食料品行商	4	4	0	0	0	0
豆腐行商	0	0	0	0	0	0

ウ 許可を要しない食品営業等施設数（市町別）

平成29年度

項 目	合 計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
合 計	275	96	42	60	55	22
給食施設小計	141	58	34	26	13	10
内 訳	学 校	28	22	0	4	1
	病院・診療所	9	3	3	2	1
	事業所	15	3	7	4	1
	そ の 他	89	30	24	19	7
その他の食品製造業	134	38	8	34	42	12

(2) 食中毒発生防止等の対策

食品関係営業者及び一般消費者を対象とした食中毒予防についての講習会を実施した。

ア 講習会の開催

平成29年度

区 分	回 数	受 講 者(人)
合 計	20	962
食品営業関係従事者	8	132
食品衛生責任者等	1	212
そ の 他	11	618

イ 食中毒事件の調査等

平成29年度 0件

3 生活環境の確保

(1) 衛生的な生活環境の確保

ア 環境衛生関係営業施設数

平成29年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町	監視件数	
総数	737	320	232	113	38	34	137	
理容所	191	83	58	36	7	7	32	
美容所	383	179	125	49	11	19	63	
クリーニング	114	46	37	18	9	4	20	
内訳	一般	29	16	7	5	1	0	5
	取次	83	29	29	13	8	4	14
	特定洗濯物	2	1	1	0	0	0	1
公衆浴場	23	5	3	5	6	4	13	
内訳	一般	0	0	0	0	0	1	
	その他	23	5	3	5	6	4	12
興行場	3	1	1	0	1	0	1	
内訳	映画	1	0	1	0	0	0	
	スポーツ	0	0	0	0	0	0	
	その他	2	1	0	0	1	0	1
旅館業	23	6	8	5	4	0	8	
内訳	ホテル	12	4	7	1	0	0	6
	旅館	8	2	1	2	3	0	1
	簡易宿所	3	0	0	2	1	0	1
	下宿	0	0	0	0	0	0	0

イ 環境衛生関係施設数

平成29年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
火葬場	2	0	0	0	2	0
納骨堂	5	2	1	1	1	0
墓地	1,748	373	72	330	618	355
特定建築物	33	百貨店5・店舗13・事務所6・学校4・旅館2・興行場1・その他2				

ウ 建築物の環境衛生管理事業者登録数

平成29年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総数	18	8	6	4	0	0
建築物清掃業	3	1	1	1	0	0
建築物空気環境測定業	0	0	0	0	0	0
建築物空気調和用ダクト清掃業	0	0	0	0	0	0
建築物飲料水水質検査業	0	0	0	0	0	0
建築物飲料水貯水槽清掃業	8	4	2	2	0	0
建築物排水管清掃業	3	1	1	1	0	0
建築物ねずみこん虫等防除業	3	1	2	0	0	0
建築物総合管理業	1	1	0	0	0	0

エ 水道施設数

平成29年度

項目	合計	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総数	3	1	0	2	0	0
種別	簡易水道事業	1	1	0	0	0
	専用水道	2	—	—	2	—
	自家用水道	0	—	—	0	—

オ プール維持管理の指導

「埼玉県プールの安全安心要綱」に基づき、施設及び水質の維持管理の状況について監視を行った。

平成29年度

項目	合計	公営	民営
施設数	7	2	5
プールの数	20	7	13
監視件数	9	3	6

カ 居住環境等に係る相談

近年、住宅様式の変化に伴い、人体における室内化学物質の影響が問題になっている。

平成29年度

項目	合計	ねずみ	衛生害虫	蜂等の昆虫	ダニ	ノミ	他の生き物	VOC*	カビ等	その他
相談数	22	2	8	8	3	0	0	1	0	0

* VOCとは、ホルムアルデヒド、トルエン、ベンゼン、テトラクロロエチレン等の揮発性有機化学物質をいう。

キ 飲料水等検査受付検体数及び不適検体数

平成29年度

区分	合計	上水道	簡易水道	専用水道	簡易専用水道	小規模受水槽	自家用水道	その他の水道	井戸水等
検体数	35	2	0	0	2	2	0	0	29
不適数(再掲)	6	0	0	0	0	0	0	0	6

(2) 動物の適正な飼育管理

ア 犬の登録・狂犬病予防注射実施状況

平成29年度

項目	総数	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
登録頭数	11,616	4,514	3,373	1,904	700	1,125
※新規登録頭数	690	310	180	101	38	61
注射済票交付数	8,074	3,389	2,209	1,247	513	716

イ 犬の収容、処理等の状況

平成29年度

収容			処 理				そ の 他		
総数	捕獲	飼養放棄	総数	指導センター送致数	飼い主返還	保健所処理数	取下げ	前年度繰越分	次年度へ繰越
48	45	3	48	8	40	0	0	0	0

ウ 苦情・相談処理状況

平成29年度

総数	捕獲依頼	犬の引取依頼	放し飼い取締依頼	咬傷事件関係	家畜農作物被害	糞尿関係	鳴き声	その他
296	59	7	19	8	0	2	24	177

エ 犬の事故届出数

平成29年度

発生件数	咬 傷			被咬傷人数	咬傷以外発生件数
	狂 犬 病 の 鑑 定				
	狂犬病数	疑狂犬病数	非狂犬病数		
8	0	0	8	8	0

オ 第一種動物取扱業の登録状況

平成29年度

施設数	業 種 別						
	販売	保管	貸出し	訓練	展示	競りあっせん	譲受飼養
86	36	56	0	14	11	0	0

※一部重複している

カ 第二種動物取扱業の届出状況

平成29年度

施設数	業 種 別				
	譲渡し	保管	貸出し	訓練	展示
1	1	1	0	0	0

キ 特定動物飼養保管許可状況

平成29年度

施設数	動 物 種		
	ニホンザル	ワニガメ	ボア・コンストラクター
3	1	1	1

【参考資料】

1 各種協議会等委員名簿

〈敬称略〉

(1) 埼玉県川越比企保健医療圏地域保健医療・地域医療構想協議会委員名簿

平成30年7月1日現在

氏名	役職名	備考
丸山元孝	坂戸鶴ヶ島医師会長	
藤田龍一	川越市医師会長	
須田清美	比企医師会長	
小川俊夫	川越市歯科医師会長	
安田寛仁	入間郡市歯科医師会副会長	
長嶺芳昭	比企郡市歯科医師会長	
天野勉	川越市薬剤師会長	
平塚大	坂戸鶴ヶ島市薬剤師会長	
井上辰憲	東松山薬剤師会長	
堤晴彦	埼玉医科大学総合医療センター病院長	
織田弘美	埼玉医科大学病院病院長	
森本義博	小川赤十字病院院長	
野崎達夫	東松山医師会病院代表理事	
齊藤正身	医療法人真正会理事長	
篠原千代三	全国健康保険協会埼玉支部保健事業推進役	
原陽子	東松山市民病院看護部長	
田中久子	女子栄養大学教授	
野口丸美	鳩山町食生活改善推進員協議会会長	
作山すみ子	吉見町母子愛育会会長	
高野慎太郎	公募委員	
野口昭彦	川越市保健医療部長	
細野英也	坂戸市市民健康部長	
有隅栄	鶴ヶ島市健康福祉部参事	
山田昭彦	東松山市健康福祉部長	
奥泉隆雄	越生町健康福祉課長	
小貝和己	埼玉県西部福祉事務所長	
丸山浩	川越市保健所長	
遠藤浩正	埼玉県東松山保健所長	
田邊博義	埼玉県坂戸保健所長	

<敬称略>

(2) 坂戸・飯能地区救急医療対策協議会委員名簿

平成30年度

氏名	役職名	備考
丸山元孝	坂戸鶴ヶ島医師会長	会長
増島宏徳	飯能地区医師会長	副会長
有隅栄	鶴ヶ島市健康福祉部参事	副会長
鈴木将夫	入間地区医師会副会長	
栗山聡	入間郡市歯科医師会長	
佐瀬武	佐瀬病院院長	
峰田喬臣	飯能中央病院院長	
有田栄一	医療法人泰一会飯能整形外科病院院長	
土屋長二	坂戸中央病院院長	
田中政彦	医療法人関越病院病院長	
西蔵ツワン	武蔵台病院病院長	
高木進	旭ヶ丘病院病院長	
岡村維摩	岡村記念クリニック院長	
小山勇	埼玉医科大学国際医療センター病院長	
織田弘美	埼玉医科大学病院病院長	
島田茂	飯能市健康福祉部長	
細野英也	坂戸市市民健康部長	
金子孝治	日高市健康推進部長	
小泉雅昭	毛呂山町保健センター所長	
奥泉隆雄	越生町健康福祉課長	
山田幸一	鳩山町町民健康課長	
岡部久志	坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部消防長	
村田正実	西入間広域消防組合消防本部消防長	
荒幡憲作	埼玉西部消防組合消防局消防局長	
川南勝彦	埼玉県狭山保健所長	
田邊博義	埼玉県坂戸保健所長	

(3) 埼玉県坂戸保健所感染症診査協議会委員名簿

平成30年度

役職名	氏名	所属機関名
委員長	嶺崎祥平 (平成30年4月~5月) 山崎進 (平成30年6月~)	埼玉医科大学病院
委員	俵英之	たわらクリニック
委員	川上泰祐	川上司法書士事務所

〈敬称略〉

2 坂戸保健所管内各市町・保健センター一覧

機 関 名	所 在 地	電 話 番 号	F A X 番 号
坂戸市役所 市民健康センター	〒350-0292 坂戸市千代田1-1-1	049-283-1331	049-283-3903
	〒350-0212 坂戸市石井2327-3	049-284-1621	049-284-3939
鶴ヶ島市役所 保健センター	〒350-2292 鶴ヶ島市三ツ木16-1	049-271-1111	049-271-1190
	〒350-2213 鶴ヶ島市脚折1922-10	049-271-2745	049-271-2747
毛呂山町役場 保健センター	〒350-0493 毛呂山町中央2-1	049-295-2112	049-295-0771
	〒350-0436 毛呂山町川角305	049-294-5511	049-295-5850
越生町役場 保健センター	〒350-0494 越生町越生900-2	049-292-3121	049-292-5400
	〒350-0416 越生町越生917	049-292-5505	049-292-5623
鳩山町役場 保健センター	〒350-0392 鳩山町大豆戸184-16	049-296-1211	049-296-2594
	〒350-0324 鳩山町大豆戸183-1	049-296-2530	049-296-2832

3 坂戸保健所管内関係団体一覧

平成30年度

各 団 体	職 名	氏 名
坂戸鶴ヶ島医師会	会 長	丸 山 元 孝
入間地区医師会	会 長	小 室 順 義
比企医師会	会 長	須 田 清 美
埼玉医科大学医師会	会 長	片 山 茂 裕
入間郡市歯科医師会	会 長	栗 山 聡
第4支部（越生・毛呂山）	支部長	和 田 かつら
第5支部（坂戸・鶴ヶ島）	支部長	大 場 敏 男
坂戸鶴ヶ島歯科医師会	会 長	平 沼 康 彦
比企郡市歯科医師会	会 長	長 嶺 芳 昭
坂戸鶴ヶ島市薬剤師会	会 長	平 塚 大
坂戸保健所管内薬物乱用防止指導員協議会	会 長	山 崎 英 隆
西入間狂犬病予防協会	会 長	遠 田 淳
坂戸保健所管内食品衛生協会	会 長	福 岡 次 郎
坂戸保健所管内環境衛生協会	会 長	佐々木 雅 哉
坂戸市食生活改善推進員協議会	会 長	山 口 美 恵 子
鶴ヶ島市食生活改善推進員協議会	会 長	佐久間 眞 理 子
毛呂山町食生活改善推進員協議会	会 長	野 呂 鈴 江
鳩山町食生活改善推進員協議会	会 長	野 口 丸 美
坂戸保健所管内給食管理者研究会	会 長	村 山 美 紀
地域活動栄養士会（れもんの会）	会 長	小田島 京 子

4 健康相談・各種検査等定例事業一覧

平成30年度

名 称	実 施 日	受 付 時 間	備 考
接 触 者 健 診 (IGRA検査)	毎月 第3月曜日	午前9時～午後2時	予約制
こどもの心の健康相談	毎月 第4水曜日 (原則)	午後1時30分～5時	予約制
エイズ抗体検査・相談 性感染症検査	毎月 第2・4月曜日 (第4月曜日のみ、 夜間検査あり)	午前9時～10時 ※夜間はエイズ抗体検査のみ 午後5時30分～6時30分	予約制
ひきこもり専門相談	毎月 第4火曜日 (原則)	午前10時～12時	予約制
水 質 検 査	坂戸保健所 毎月 第2・4月曜日	午前8時30分～9時30分	休日を除く

人 口 動 態 統 計

□ 人口動態統計

(1) 人口動態統計総覧	49
(2) 人口動態概況	50
(3) 年齢3区分別の人口推移	51
(4) 出生	55
ア 出生率の年次推移 (人口千対)	55
イ 体重別・市町別出生数	56
ウ 母の年齢別・出生順位別出生数	57
エ 母の年齢別・市町別出生数	57
(5) 死亡	58
ア 死亡率の年次推移 (人口千対)	58
イ 死因別・市町別死亡数 (死因简单分類別)	59
ウ 市町別死因順位と割合 (%)	61
エ 乳児死亡率の年次推移 (人口千対)	62
オ 新生児死亡率の年次推移 (人口千対)	63
カ 周産期死亡率の年次推移 (人口千対)	63
(6) 死産	64
ア 死産率の年次推移 (出産千対)	64
イ 自然死産率の年次推移 (出産千対)	65
ウ 人工死産率の年次推移 (出産千対)	65
(7) 婚姻	66
(8) 離婚	67
(9) 合計特殊出生率	68
(10) 比率の解説	69

◆人口動態◆

(1) 人口動態統計総覧

(人、件) 平成28年

項目	出生数	死亡数	乳児		死産数			周産期死亡数	婚姻数	離婚数
			死亡数	新生児死亡数	総数	自然	人工			
全 国	976,978	1,307,748	1,928	874	20,934	10,067	10,867	3,516	620,531	216,798
埼 玉 県	54,447	63,466	118	52	1,181	575	606	185	34,199	12,481
管 内	1,434	2,145	1	1	25	8	17	5	871	397
坂 戸 市	687	865	-	-	10	3	7	2	374	191
鶴ヶ島市	494	588	-	-	11	4	7	2	308	114
毛呂山町	158	366	1	1	2	1	1	1	116	58
越 生 町	52	163	-	-	1	-	1	-	35	21
鳩 山 町	43	163	-	-	1	-	1	-	38	13

項目	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	死産率			周産期死亡率	婚姻率	離婚率	合計特殊出生率
					総数	自然	人工				
全 国	7.8	10.5	2.0	0.9	21.0	10.1	10.9	3.6	5.0	1.73	1.44
埼 玉 県	7.6	8.9	2.2	1.0	21.2	10.3	10.9	3.4	4.8	1.74	1.37
管 内	6.1	9.1	0.7	0.7	17.1	5.5	11.7	3.5	3.7	1.69	1.15
坂 戸 市	6.7	8.5	-	-	14.3	4.3	10.0	2.9	3.7	1.87	1.25
鶴ヶ島市	7.0	8.4	-	-	21.8	7.9	13.9	4.0	4.4	1.63	1.22
毛呂山町	4.3	9.9	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	3.1	1.57	0.87
越 生 町	4.5	14.2	-	-	18.9	-	18.9	-	3.0	1.83	0.97
鳩 山 町	3.0	11.5	-	-	22.7	-	22.7	-	2.7	0.92	0.73

(2) 人口動態概況

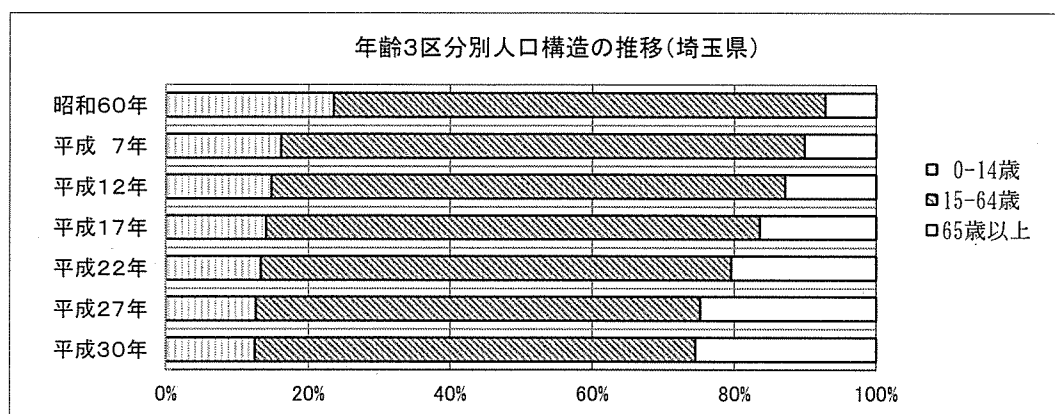
平成28年

	出生	死亡	乳児死亡	死産	婚姻	離婚
件数	1,434	2,145	1	25	871	397
率	6.1	9.1	0.7	17.1	3.7	1.69
平均発生間隔	6時間 6分 32秒	4時間 5分 2秒	365日 0時間 0分	14日 14時間 24分	10時間 3分 27秒	22時間 3分 56秒
平均1日件数	3.9	5.9	0.003	0.1	2.4	1.1

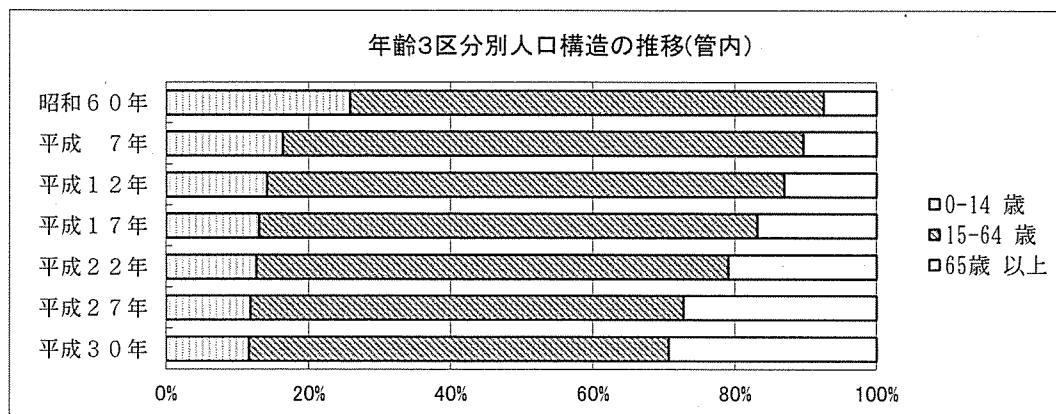
(注) 出生率、死亡率、婚姻率、離婚率は人口千対、
乳児死亡率は出生千対、死産率は出産千対である。

(3) 年齢3区分別の人口推移

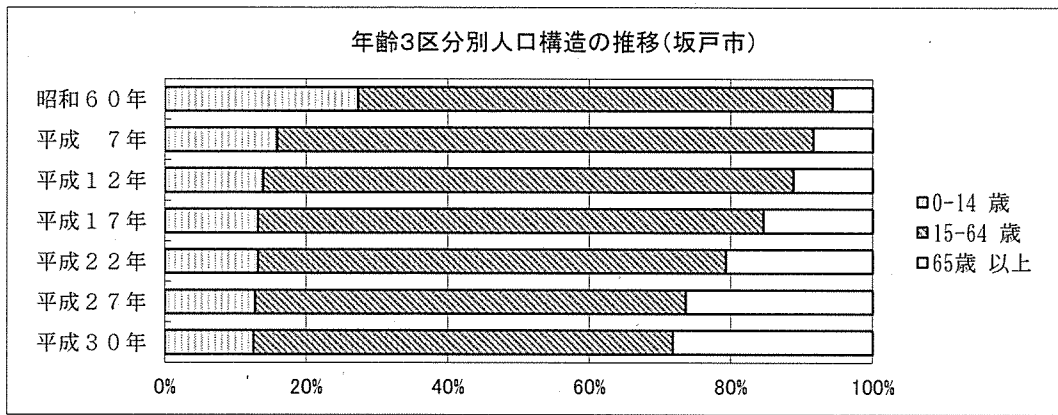
埼玉県	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	5,863,678	1,380,180	4,060,573	420,099	23.5	69.3	7.2	10.3	30.4
平成7年	6,759,311	1,090,395	4,976,945	681,172	16.2	73.7	10.1	13.7	62.5
平成12年	6,938,006	1,024,787	5,011,202	889,243	14.8	72.4	12.8	17.7	86.8
平成17年	7,054,243	986,361	4,892,253	1,157,006	14.0	69.4	16.4	21.8	108.7
平成22年	7,194,556	953,668	4,749,108	1,464,860	13.3	66.3	20.4	30.8	153.6
平成27年	7,266,534	910,805	4,507,174	1,788,735	12.6	62.5	24.8	39.7	196.4
平成30年	7,362,941	921,807	4,563,818	1,877,316	12.5	62.0	25.5	41.1	203.7



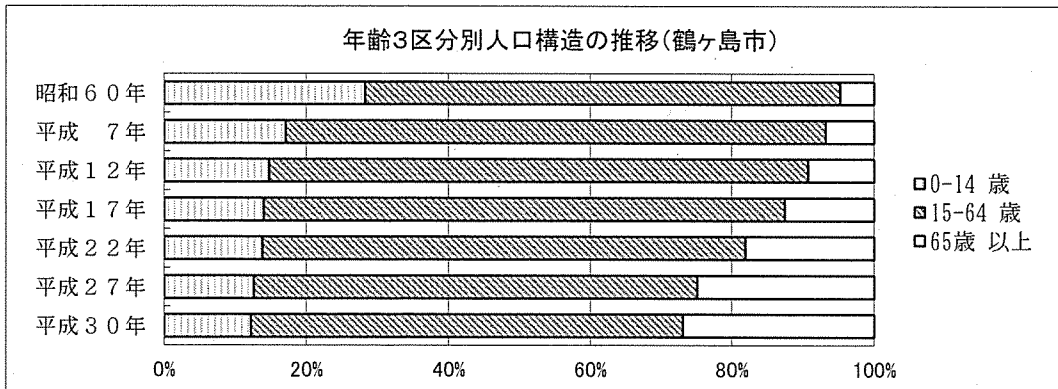
管内	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	314,323	81,037	209,803	23,384	25.8	66.8	7.4	11.1	28.9
平成7年	373,981	61,185	274,054	38,597	16.4	73.3	10.3	14.1	63.1
平成12年	375,100	52,959	273,158	48,846	14.1	72.8	13.0	17.9	92.2
平成17年	375,689	48,701	263,430	63,008	13.0	70.1	16.8	23.9	129.4
平成22年	238,586	30,141	158,101	49,927	12.7	66.4	21.0	31.6	165.6
平成27年	235,263	27,732	142,523	63,904	11.8	60.9	27.3	44.8	230.4
平成30年	231,408	26,863	136,654	67,891	11.6	59.1	29.3	49.7	252.7



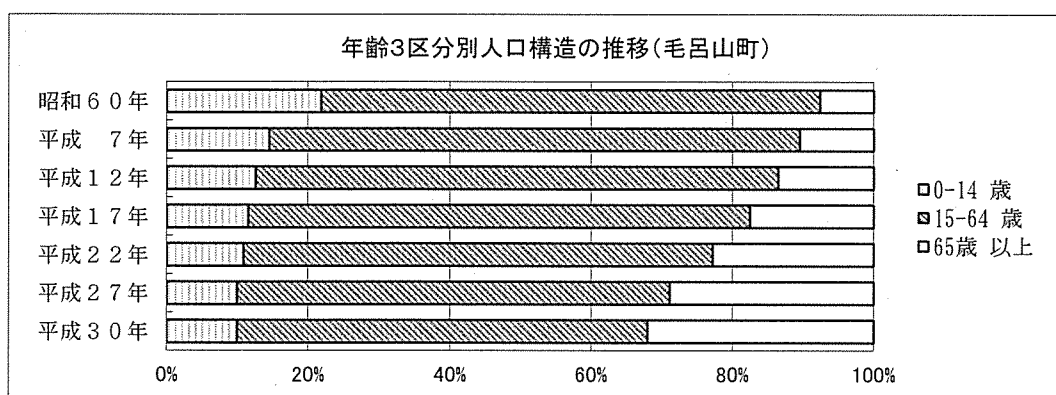
坂戸市	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	87,586	23,977	58,553	5,001	27.4	66.9	5.7	8.5	20.9
平成7年	98,221	15,578	74,334	8,263	15.9	75.7	8.4	11.1	53.0
平成12年	97,381	13,562	72,871	10,926	13.9	74.8	11.2	15.0	80.6
平成17年	98,964	13,031	70,605	15,199	13.2	71.3	15.4	21.5	116.6
平成22年	101,700	13,398	67,077	20,959	13.2	66.1	20.7	31.2	156.4
平成27年	101,679	12,931	61,664	26,642	12.8	60.9	26.3	43.2	206.0
平成30年	101,338	12,753	60,094	28,491	12.6	59.3	28.1	47.4	223.4



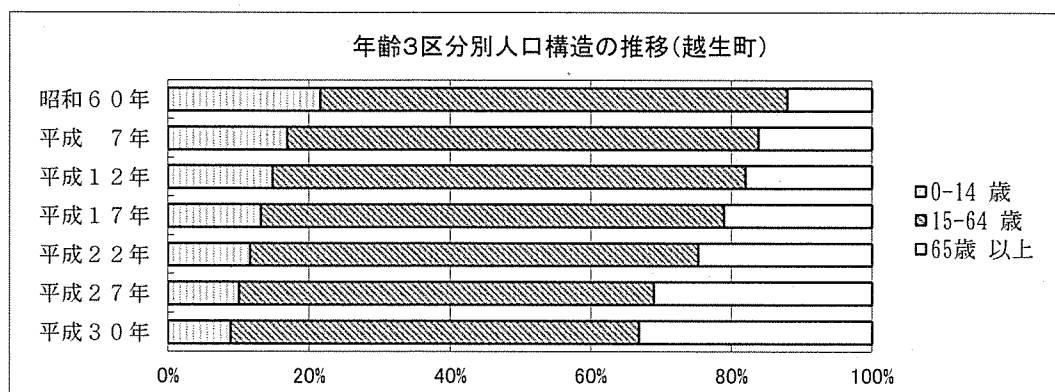
鶴ヶ島市	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	49,381	13,974	33,016	2,375	28.3	66.9	4.8	7.2	17.0
平成7年	66,208	11,303	50,320	4,524	17.1	76.1	6.8	9.0	40.0
平成12年	67,638	9,971	51,330	6,319	14.7	75.9	9.3	12.3	63.4
平成17年	69,783	9,803	51,155	8,823	14.0	73.3	12.6	17.2	90.0
平成22年	69,990	9,684	47,536	12,669	13.9	68.0	18.1	26.7	130.8
平成27年	70,255	8,802	43,641	17,352	12.6	62.5	24.9	39.8	197.1
平成30年	70,050	8,573	42,682	18,795	12.2	60.9	26.8	44.0	219.2



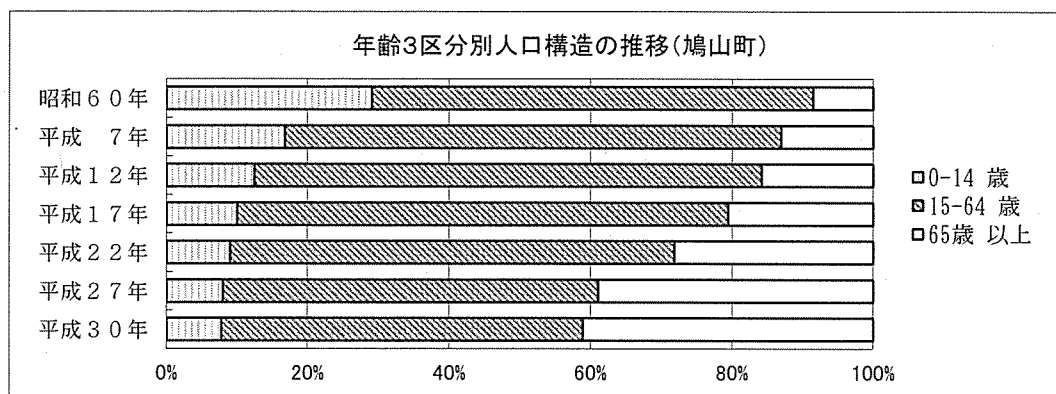
毛呂山町	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年 人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	34,467	7,536	24,300	2,625	21.9	70.5	7.6	10.8	34.8
平成7年	39,808	5,779	29,851	4,175	14.5	75.0	10.5	14.0	72.2
平成12年	39,711	4,984	29,349	5,368	12.6	73.9	13.5	18.3	107.7
平成17年	39,122	4,477	27,534	6,823	11.4	70.4	17.4	24.8	152.4
平成22年	39,054	4,228	25,893	8,885	10.8	66.4	22.8	34.3	210.1
平成27年	37,275	3,677	22,713	10,694	9.9	61.2	28.8	47.1	290.8
平成30年	34,207	3,398	19,871	10,938	9.9	58.1	32.0	55.0	321.9



越生町	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年 人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	11,622	2,510	7,706	1,406	21.6	66.3	12.1	18.2	56.0
平成7年	13,609	2,295	9,108	2,204	16.9	66.9	16.2	24.2	96.0
平成12年	13,718	2,030	9,212	2,468	14.8	67.2	18.0	26.8	121.6
平成17年	13,356	1,750	8,783	2,812	13.1	65.8	21.1	32.0	160.7
平成22年	12,537	1,447	7,991	3,097	11.5	63.7	24.7	38.8	214.0
平成27年	11,716	1,169	6,906	3,633	10.0	59.0	31.0	52.6	310.8
平成30年	11,813	1,042	6,858	3,913	8.8	58.1	33.1	57.1	375.5



鳩山町	総人口 (人)	年齢3区分別人口(人)			構成割合(%)			老年 人口 指数	老年化指 数
		年少人口 (0-14歳)	生産年齢人口 (15-64歳)	老年人口 (65歳以上)	0-14 歳	15-64 歳	65歳 以上		
昭和60年	13,931	4,045	8,695	1,187	29.0	62.4	8.5	13.7	29.3
平成7年	17,973	3,017	12,611	2,339	16.8	70.2	13.0	18.5	77.5
平成12年	17,008	2,127	12,172	2,687	12.5	71.7	15.8	22.1	126.3
平成17年	15,985	1,608	11,086	3,291	10.1	69.4	20.6	29.7	204.7
平成22年	15,305	1,384	9,604	4,317	9.0	62.8	28.2	45.0	311.9
平成27年	14,338	1,153	7,599	5,583	8.0	53.0	38.9	73.5	484.2
平成30年	14,000	1,097	7,149	5,754	7.8	51.1	41.1	80.5	524.5



(注) 昭和60年、平成7年、平成12年、平成17年、平成22年、平成27年は国勢調査による。(毎年10月1日現在)
 国勢調査は年齢不詳が存在するので、総人口と年齢3区分別人口の計は一致しない。
 平成30年は1月1日現在の埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告による。

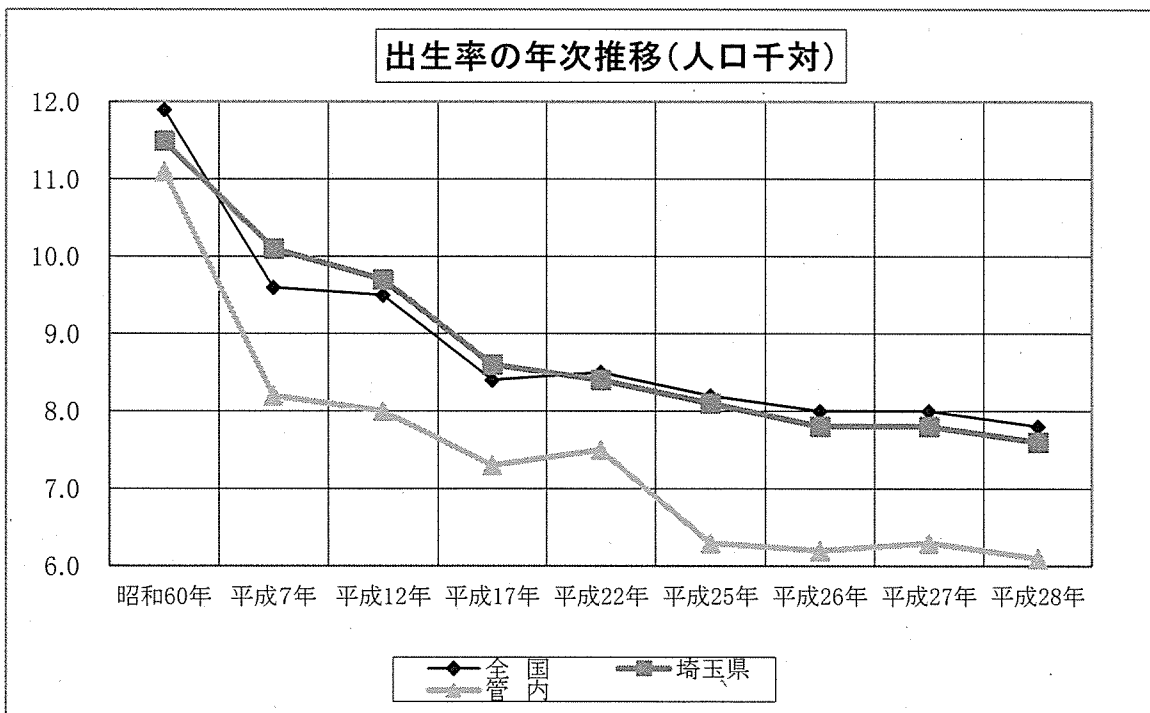
$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{年少人口(14歳以下)}} \times 100$$

(4) 出生

ア 出生率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	11.9	9.6	9.5	8.4	8.5	8.2	8.0	8.0	7.8
埼 玉 県	11.5	10.1	9.7	8.6	8.4	8.1	7.8	7.8	7.6
管 内	11.1	8.2	8.0	7.3	7.5	6.3	6.2	6.3	6.1
坂 戸 市	12.3	8.9	9.4	8.4	8.2	6.9	6.9	6.9	6.7
鶴ヶ島市	11.9	9.3	9.4	9.0	8.9	7.5	7.2	7.3	7.0
毛呂山町	9.6	7.1	6.7	5.6	5.1	4.5	4.4	4.9	4.3
越 生 町	11.7	6.5	7.3	6.8	6.1	4.9	4.3	4.0	4.5
鳩 山 町	9.5	5.3	5.0	3.8	3.6	3.0	2.8	3.3	3.0



イ 体重別・市町別出生数

平成28年

		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
2.5kg 未満	1kg未満	165	9	3	4	2	-	-
	1.0～ 1.5kg未満	191	6	4	1	1	-	-
	1.5～ 2.0kg未満	598	8	4	-	-	2	2
	2.0～ 2.5kg未満	4,034	114	44	41	17	8	4
	2.5～ 3.0kg未満	21,167	529	253	188	57	17	14
3.0～ 3.5kg未満	22,624	634	312	216	66	22	18	
3.5～ 4.0kg未満	5,232	128	65	44	13	3	3	
4.0～ 4.5kg未満	410	6	2	-	2	-	2	
4.5～ 5.0kg未満	20	-	-	-	-	-	-	
5.0kg以上	-	-	-	-	-	-	-	
不詳	6	-	-	-	-	-	-	
計	54,447	1,434	687	494	158	52	43	

ウ 母の年齢別・出生順位別出生数

平成28年

	埼玉県	坂戸保健所管内								
		小計	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上及び不詳
総数	54,447	1,434 (100.0)	-	17 (100.0)	128 (100.0)	344 (100.0)	515 (100.0)	356 (100.0)	68 (100.0)	6 (100.0)
第1子	25,947	623 (43.4)	-	15 (88.2)	87 (68.0)	194 (56.4)	203 (39.4)	98 (27.5)	23 (33.8)	3 (50.0)
第2子	20,391	545 (38.0)	-	2 (11.8)	34 (26.6)	110 (32.0)	220 (42.7)	157 (44.1)	22 (32.4)	-
第3子	6,473	201 (14.0)	-	-	7 (5.5)	31 (9.0)	65 (12.6)	79 (22.2)	19 (27.9)	-
第4子	1,206	48 (3.3)	-	-	-	7 (2.0)	22 (4.3)	15 (4.2)	4 (5.9)	-
第5子	296	12 (0.8)	-	-	-	1 (0.3)	3 (0.6)	6 (1.7)	-	2 (33.3)
第6子以上	134	5 (0.3)	-	-	-	1 (0.3)	2 (0.4)	1 (0.3)	-	1 (16.7)

(注) () 内の数字は、各年齢ごとに占める割合 (%) である。

エ 母の年齢別・市町別出生数

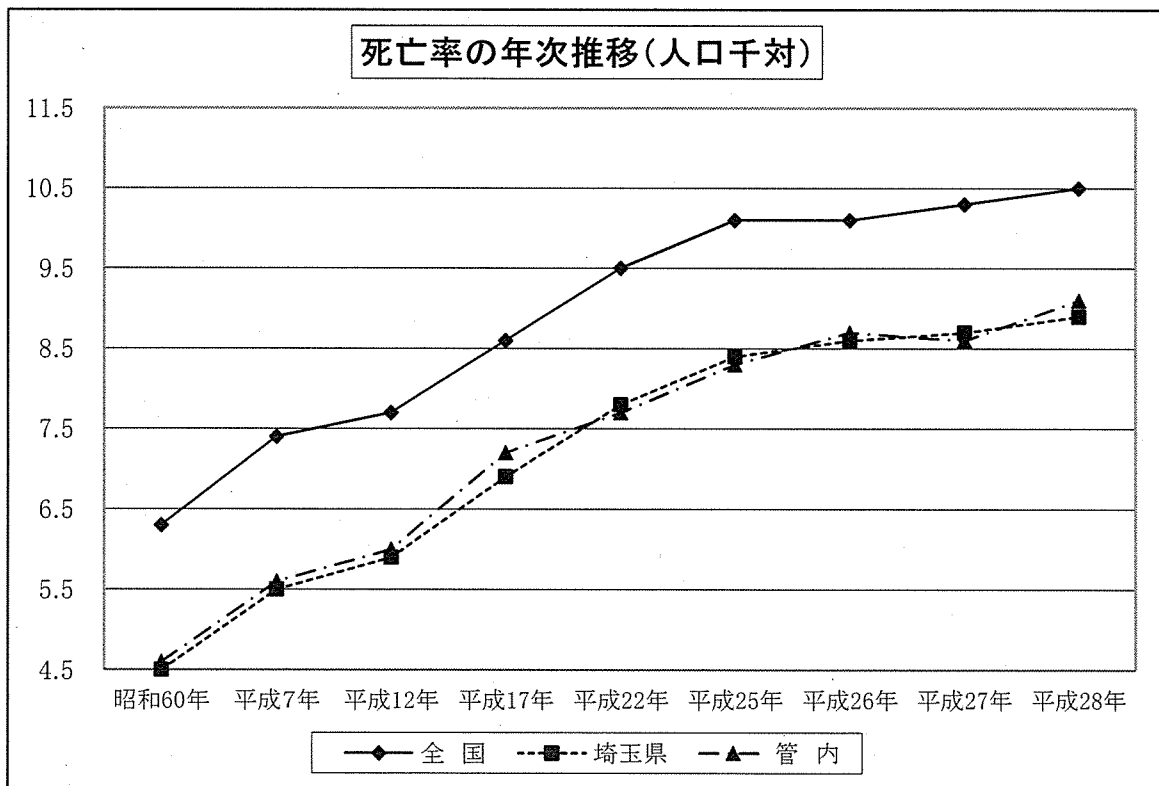
平成28年

	総数	14歳以下	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上及び不詳
埼玉県	54,447	1	500	4,247	13,372	20,353	12,874	3,025	75
管内	1,434	-	17	128	344	515	356	68	6
坂戸市	687	-	7	54	163	251	175	34	3
鶴ヶ島市	494	-	7	34	131	177	119	24	2
毛呂山町	158	-	3	29	30	47	41	7	1
越生町	52	-	-	2	11	28	10	1	-
鳩山町	43	-	-	9	9	12	11	2	-

(5) 死亡

ア 死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	6.3	7.4	7.7	8.6	9.5	10.1	10.1	10.3	10.5
埼 玉 県	4.5	5.5	5.9	6.9	7.8	8.4	8.6	8.7	8.9
管 内	4.6	5.6	6.0	7.2	7.7	8.3	8.7	8.6	9.1
坂 戸 市	3.4	5.1	5.5	6.3	7.3	7.7	7.9	8.3	8.5
鶴ヶ島市	3.1	3.9	4.1	5.6	6.4	7.5	7.6	7.0	8.4
毛呂山町	5.4	5.7	6.7	8.4	8.9	10.0	10.7	10.2	9.9
越 生 町	7.4	8.0	9.0	10.3	10.8	11.0	12.9	12.2	14.2
鳩 山 町	3.4	6.6	7.1	8.9	11.0	9.5	11.3	11.0	11.5



イ 死因別・市町別死亡数（死因簡単分類別）

平成28年

死 因		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
総 数		63,466	2,145	865	588	366	163	163
01000	感染症及び寄生虫症	1,252	26	12	7	3	4	-
01100	腸管感染症	84	1	-	1	-	-	-
01200	結核	85	-	-	-	-	-	-
01201	呼吸器結核	76	-	-	-	-	-	-
01202	その他の結核	9	-	-	-	-	-	-
01300	敗血症	621	11	5	4	1	1	-
01400	ウイルス肝炎	213	7	1	2	2	2	-
01401	B型ウイルス肝炎	19	-	-	-	-	-	-
01402	C型ウイルス肝炎	183	7	1	2	2	2	-
01403	その他のウイルス肝炎	11	-	-	-	-	-	-
01500	ヒト免疫不全ウイルス	7	-	-	-	-	-	-
01600	その他の感染症及び寄生虫症	242	7	6	-	-	1	-
02000	新生物	19,698	690	282	195	115	44	54
02100	悪性新生物	19,148	673	278	188	112	43	52
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	393	10	6	1	1	1	1
02102	食道の悪性新生物	684	26	13	6	4	2	1
02103	胃の悪性新生物	2,384	65	30	17	7	3	8
02104	結腸の悪性新生物	1,778	66	24	19	14	4	5
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	793	26	6	9	5	3	3
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1,299	51	15	15	11	5	5
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	837	24	8	6	5	3	2
02108	膵の悪性新生物	1,624	73	30	21	14	3	5
02109	喉頭の悪性新生物	43	2	-	-	2	-	-
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3,814	127	61	34	14	8	10
02111	皮膚の悪性新生物	68	5	2	1	1	1	-
02112	乳房の悪性新生物	824	26	15	6	3	1	1
02113	子宮の悪性新生物	352	10	5	2	1	1	1
02114	卵巣の悪性新生物	289	10	5	3	1	1	-
02115	前立腺の悪性新生物	629	21	9	5	3	1	3
02116	膀胱の悪性新生物	426	16	8	5	3	-	-
02117	中枢神経系の悪性新生物	123	6	2	2	1	-	1
02118	悪性リンパ腫	623	26	8	8	6	2	2
02119	白血病	427	12	3	4	3	-	2
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	231	7	3	2	1	1	-
02121	その他の悪性新生物	1,507	64	25	22	12	3	2
02200	その他の新生物	550	17	4	7	3	1	2
02201	中枢神経系のその他の新生物	137	2	1	-	-	1	-
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	413	15	3	7	3	-	2
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	225	5	3	1	-	1	-
03100	貧血	102	2	1	1	-	-	-
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	123	3	2	-	-	1	-
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,024	24	12	7	2	1	2
04100	糖尿病	706	20	9	6	2	1	2
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	318	4	3	1	-	-	-
05000	精神及び行動の障害	507	19	6	7	2	3	1
05100	血管性及び詳細不明の認知症	418	17	6	6	1	3	1
05200	その他の精神及び行動の障害	89	2	-	1	1	-	-
06000	神経系の疾患	1,387	54	18	19	9	7	1
06100	髄膜炎	9	-	-	-	-	-	-
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	119	4	2	2	-	-	-
06300	パーキンソン病	288	15	7	4	2	1	1
06400	アルツハイマー病	453	11	2	3	3	3	-
06500	その他の神経系の疾患	518	24	7	10	4	3	-
07000	眼及び付属器の疾患	2	-	-	-	-	-	-
08000	耳及び乳様突起の疾患	1	-	-	-	-	-	-
09000	循環器系の疾患	16,573	567	220	163	89	45	50
09100	高血圧性疾患	253	5	2	1	1	-	1
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	98	3	1	-	1	-	1
09102	その他の高血圧性疾患	155	2	1	1	-	-	-
09200	心疾患（高血圧性を除く）	10,026	377	144	112	65	24	32
09201	慢性リウマチ性疾患	104	1	-	1	-	-	-
09202	急性心筋梗塞	1,877	63	22	24	12	3	2
09203	その他の虚血性心疾患	2,904	137	51	36	29	7	14
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	476	8	5	2	1	-	-
09205	心筋症	149	4	2	1	-	-	1
09206	不整脈及び伝導障害	1,084	31	11	11	4	2	3
09207	心不全	3,256	131	53	36	18	12	12
09208	その他の心疾患	176	2	-	1	1	-	-
09300	脳血管疾患	5,159	155	67	41	17	16	14
09301	くも膜下出血	649	26	11	8	2	4	1

死 因		埼玉県	管内	坂戸市	鶴ヶ島市	毛呂山町	越生町	鳩山町
09302	脳内出血	1,609	44	19	14	3	2	6
09303	脳梗塞	2,770	84	36	19	12	10	7
09304	その他の脳血管疾患	131	1	1	-	-	-	-
09400	大動脈瘤及び解離	840	20	6	7	2	2	3
09500	その他の循環器系の疾患	295	10	1	2	4	3	-
10000	呼吸器系の疾患	10,392	324	124	82	65	28	25
10100	インフルエンザ	72	3	-	2	-	1	-
10200	肺炎	6,543	194	66	46	44	18	20
10300	急性気管支炎	14	-	-	-	-	-	-
10400	慢性閉塞性肺疾患	686	29	13	9	5	2	-
10500	喘息	52	1	-	1	-	-	-
10600	その他の呼吸器系疾患	3,025	97	45	24	16	7	5
11000	消化器系の疾患	2,274	81	26	27	16	5	7
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	108	4	1	2	1	-	-
11200	ヘルニア及び腸閉塞	323	14	4	3	7	-	-
11300	肝疾患	784	27	8	13	2	1	3
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	408	20	5	9	2	1	3
11302	その他の肝疾患	376	7	3	4	-	-	-
11400	その他の消化器系の疾患	1,059	36	13	9	6	4	4
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	73	3	1	-	1	-	1
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	290	9	3	3	1	1	1
14000	腎尿路生殖器系の疾患	1,720	55	24	12	10	6	3
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	169	4	1	1	2	-	-
14200	腎不全	1,132	39	17	8	7	5	2
14201	急性腎不全	148	4	2	-	1	1	-
14202	慢性腎不全	739	31	12	8	6	3	2
14203	詳細不明の腎不全	245	4	3	-	-	1	-
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	419	12	6	3	1	1	1
15000	妊娠、分娩及び産じょく	1	-	-	-	-	-	-
16000	周産期に発生した病態	27	1	-	-	1	-	-
16100	妊娠期間及び胎児発育に関する障害	-	-	-	-	-	-	-
16200	出産外傷	-	-	-	-	-	-	-
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	14	-	-	-	-	-	-
16400	周産期に特異的な感染症	2	-	-	-	-	-	-
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	4	1	-	-	1	-	-
16600	その他の周産期に発生した病態	7	-	-	-	-	-	-
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	113	4	2	1	-	-	1
17100	神経系の先天奇形	5	-	-	-	-	-	-
17200	循環器系の先天奇形	54	4	2	1	-	-	1
17201	心臓の先天奇形	36	3	2	1	-	-	-
17202	その他の循環器系の先天奇形	18	1	-	-	-	-	1
17300	消化器系の先天奇形	9	-	-	-	-	-	-
17400	その他の先天性奇形及び変形	33	-	-	-	-	-	-
17500	染色体異常、他に分類されないもの	12	-	-	-	-	-	-
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,063	191	90	49	28	14	10
18100	老衰	3,510	146	71	38	19	10	8
18200	乳幼児突然死症候群	7	-	-	-	-	-	-
18300	その他の症状、徴候・異常臨床所見・異常検査所見で他の分類されないもの	1,546	45	19	11	9	4	2
20000	傷病及び死亡の外因	2,844	92	42	15	24	4	7
20100	不慮の事故	1,455	43	20	3	13	1	6
20101	交通事故	248	7	3	-	3	-	1
20102	転倒・転落	344	7	1	1	2	1	2
20103	不慮の溺死及び溺水	142	6	4	-	2	-	-
20104	不慮の窒息	390	10	6	-	3	-	1
20105	煙、火及び火災への曝露	43	4	2	-	1	-	1
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	21	-	-	-	-	-	-
20107	その他の不慮の事故	267	9	4	2	2	-	1
20200	自殺	1,194	41	18	10	10	3	-
20300	他殺	11	-	-	-	-	-	-
20400	その他の外因死	184	8	4	2	1	-	1

ウ 市町別死因順位と割合（％）

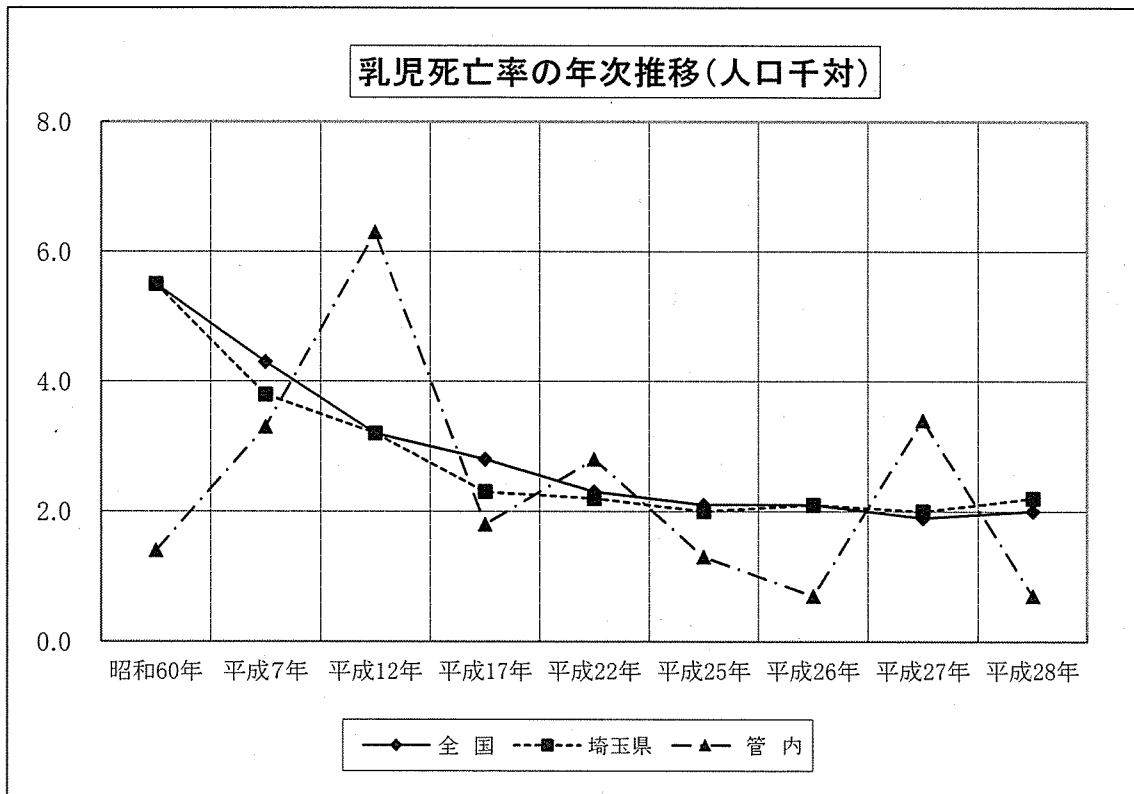
平成28年

	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位	
	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合	死 因	割合
全 国	悪性新生物	28.5	心 疾 患	15.1	肺 炎	9.1	脳血管疾患	8.4	老 衰	7.1
埼 玉 県	悪性新生物	30.2	心 疾 患	15.8	肺 炎	10.3	脳血管疾患	8.1	老 衰	5.5
管 内	悪性新生物	31.4	心 疾 患	17.6	肺 炎	9.0	脳血管疾患	7.2	老 衰	6.8
坂 戸 市	悪性新生物	32.1	心 疾 患	16.6	老 衰	8.2	脳血管疾患	7.7	肺 炎	7.6
鶴ヶ島市	悪性新生物	32.0	心 疾 患	19.0	肺 炎	7.8	脳血管疾患	7.0	老 衰	6.5
毛呂山町	悪性新生物	30.6	心 疾 患	17.8	肺 炎	12.0	老 衰	5.2	脳血管疾患	4.6
越 生 町	悪性新生物	26.4	心 疾 患	14.7	肺 炎	11.0	脳血管疾患	9.8	老 衰	6.1
鳩 山 町	悪性新生物	31.9	心 疾 患	19.6	肺 炎	12.3	脳血管疾患	8.6	老 衰	4.9

- (注) 1 死因名は次のように省略した
 心疾患→心疾患（高血圧症を除く）
 2 死因順位は死亡数の多いもの順とした。
 3 割合（％）は、それぞれの死亡数を100とした場合の割合である。

エ 乳児死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	5.5	4.3	3.2	2.8	2.3	2.1	2.1	1.9	2.0
埼 玉 県	5.5	3.8	3.2	2.3	2.2	2.0	2.1	2.0	2.2
管 内	1.4	3.3	6.3	1.8	2.8	1.3	0.7	3.4	0.7
坂 戸 市	4.7	4.6	10.9	1.2	3.7	2.8	1.4	7.3	-
鶴ヶ島市	8.5	1.6	1.6	-	3.3	-	-	-	-
毛呂山町	6.0	7.1	3.7	9.3	-	-	-	-	6.3
越 生 町	14.7	-	-	11.1	-	-	-	-	-
鳩 山 町	-	-	47.1	-	-	-	-	-	-



オ 新生児死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	3.4	2.2	1.8	1.4	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9
埼 玉 県	3.4	1.8	1.6	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	1.0
管 内	2.6	1.6	3.6	1.1	2.3	0.7	-	0.7	0.7
坂 戸 市	1.9	3.4	4.3	-	3.7	1.4	-	1.5	-
鶴ヶ島市	1.7	-	1.6	-	1.6	-	-	-	-
毛呂山町	3.0	-	-	4.7	-	-	-	-	6.3
越 生 町	7.4	-	-	11.1	-	-	-	-	-
鳩 山 町	-	-	35.3	-	-	-	-	-	-

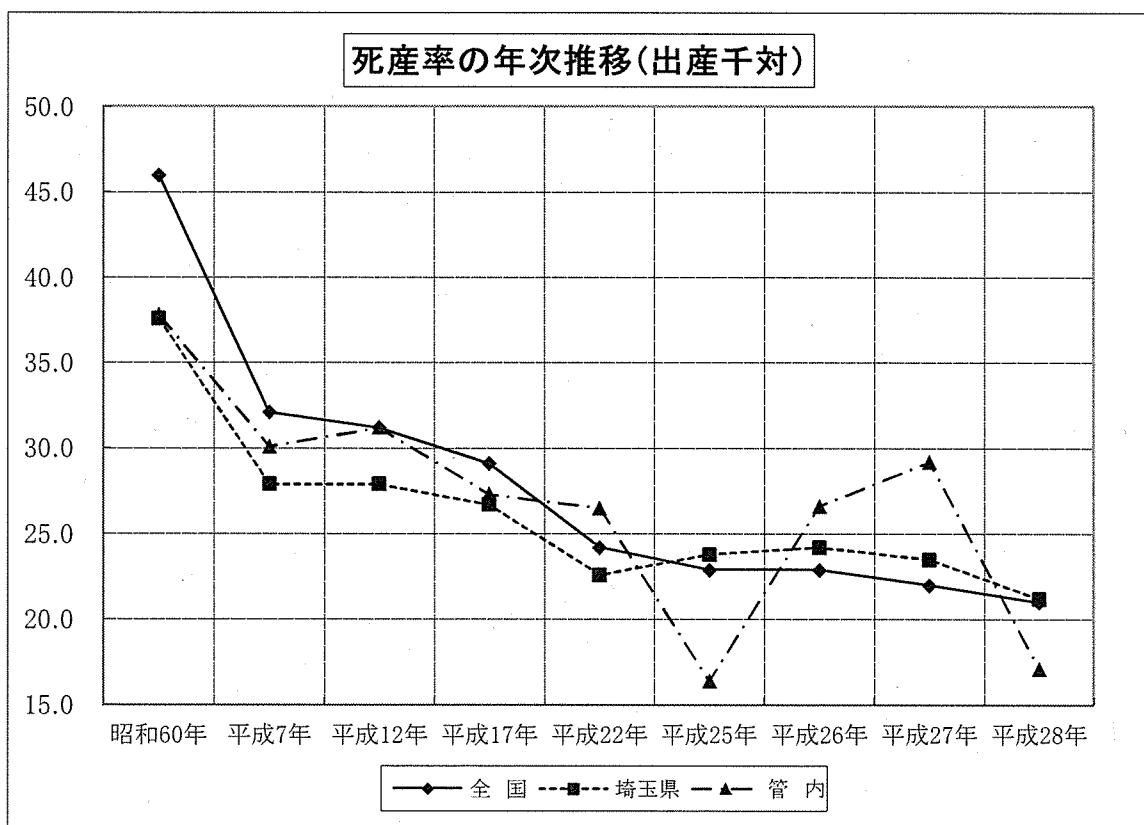
カ 周産期死亡率の年次推移（人口千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	8.0	7.0	5.8	4.8	4.2	3.7	3.7	3.7	3.6
埼 玉 県	8.3	7.0	6.0	4.7	4.2	3.7	4.0	3.7	3.4
管 内	8.0	7.2	7.3	3.7	2.3	2.7	2.7	6.1	3.5
坂 戸 市	7.5	11.4	9.7	3.6	3.7	2.8	2.9	7.3	2.9
鶴ヶ島市	1.7	1.6	7.8	6.4	1.6	1.9	3.9	3.9	4.0
毛呂山町	3.0	7.1	3.7	4.7	-	-	-	10.9	6.3
越 生 町	7.4	-	9.9	-	-	16.7	-	-	-
鳩 山 町	-	-	35.3	-	-	-	-	-	-

(6) 死産

ア 死産率の年次推移 (出産千対)

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	46.0	32.1	31.2	29.1	24.2	22.9	22.9	22.0	21.0
埼 玉 県	37.6	27.9	27.9	26.7	22.6	23.8	24.2	23.5	21.2
管 内	37.8	30.1	31.2	27.3	26.5	16.4	26.6	29.2	17.1
坂 戸 市	38.5	38.5	39.7	36.4	30.8	19.6	25.1	24.3	14.3
鶴ヶ島市	39.2	22.2	29.1	20.4	20.8	15.0	23.1	36.3	21.8
毛呂山町	48.7	37.5	36.1	27.3	19.7	11.4	45.7	37.0	12.5
越 生 町	14.5	11.2	38.5	32.3	38.0	16.7	-	20.8	18.9
鳩 山 町	36.5	10.4	34.1	-	35.1	-	47.6	-	22.7



イ 自然死産率の年次推移（出産千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	22.1	14.9	13.2	12.3	11.2	10.4	10.6	10.6	10.1
埼 玉 県	21.8	15.2	13.8	12.7	11.3	11.8	11.6	11.7	10.3
管 内	26.7	15.2	14.5	9.3	12.7	5.9	10.6	13.9	5.5
坂 戸 市	24.2	17.6	23.0	10.6	14.2	8.4	9.8	12.8	4.3
鶴ヶ島市	26.1	9.5	13.8	11.0	12.8	3.8	11.5	13.4	7.9
毛呂山町	25.8	17.1	14.4	9.1	4.9	-	11.4	26.5	6.3
越 生 町	14.5	11.2	19.2	-	12.7	16.7	-	-	-
鳩 山 町	36.5	-	22.7	-	17.55	-	23.8	-	-

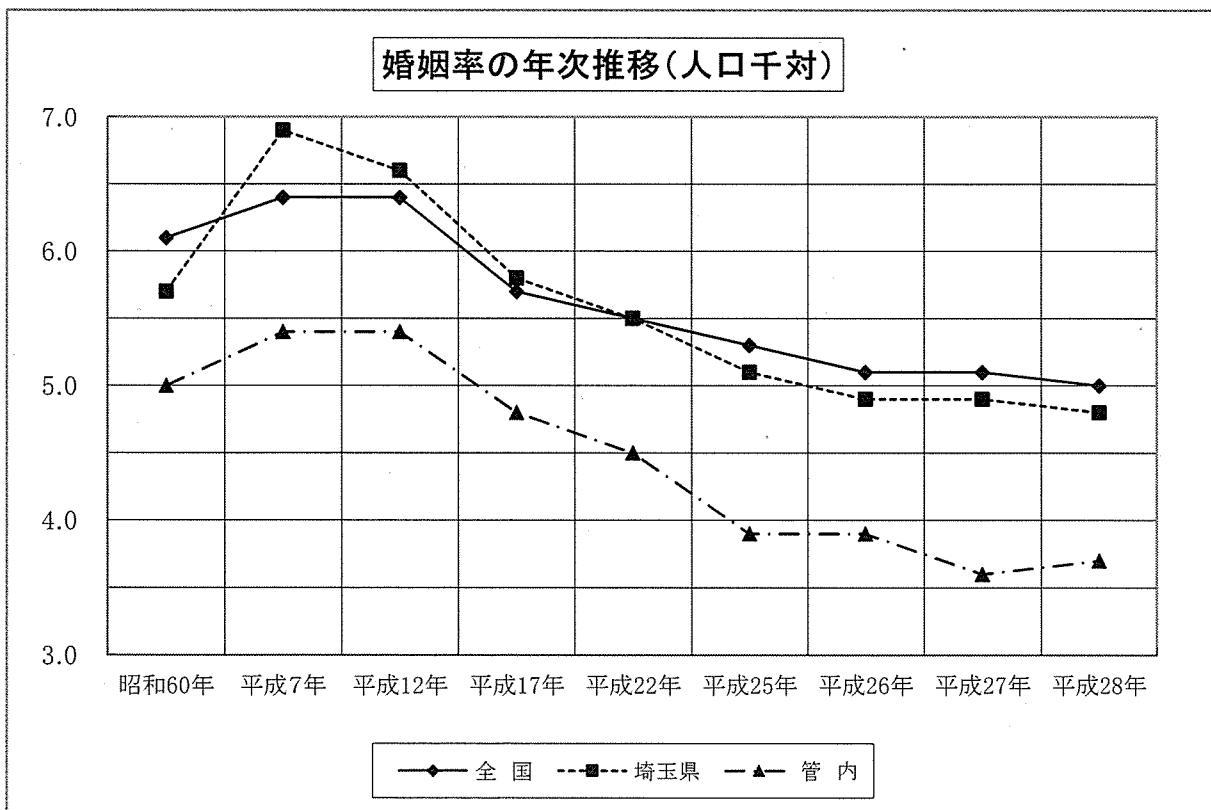
ウ 人工死産率の年次推移（出産千対）

	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	23.9	17.3	18.1	16.7	13.0	12.5	12.3	11.4	10.9
埼 玉 県	15.9	12.7	14.1	14.0	11.3	12.0	12.5	11.8	10.9
管 内	11.0	14.9	16.7	17.9	13.8	10.5	15.9	15.2	11.7
坂 戸 市	24.2	20.9	16.7	25.9	16.6	11.2	15.4	11.4	10.0
鶴ヶ島市	26.1	12.7	15.3	9.4	8.0	11.3	11.5	22.9	13.9
毛呂山町	25.8	20.5	21.7	18.2	14.8	11.4	34.3	10.6	6.3
越 生 町	14.5	-	19.2	32.3	25.3	-	-	20.8	18.9
鳩 山 町	36.5	10.4	11.4	-	17.55	-	23.8	-	22.7

(7) 婚 姻

婚姻率の年次推移（人口千対）

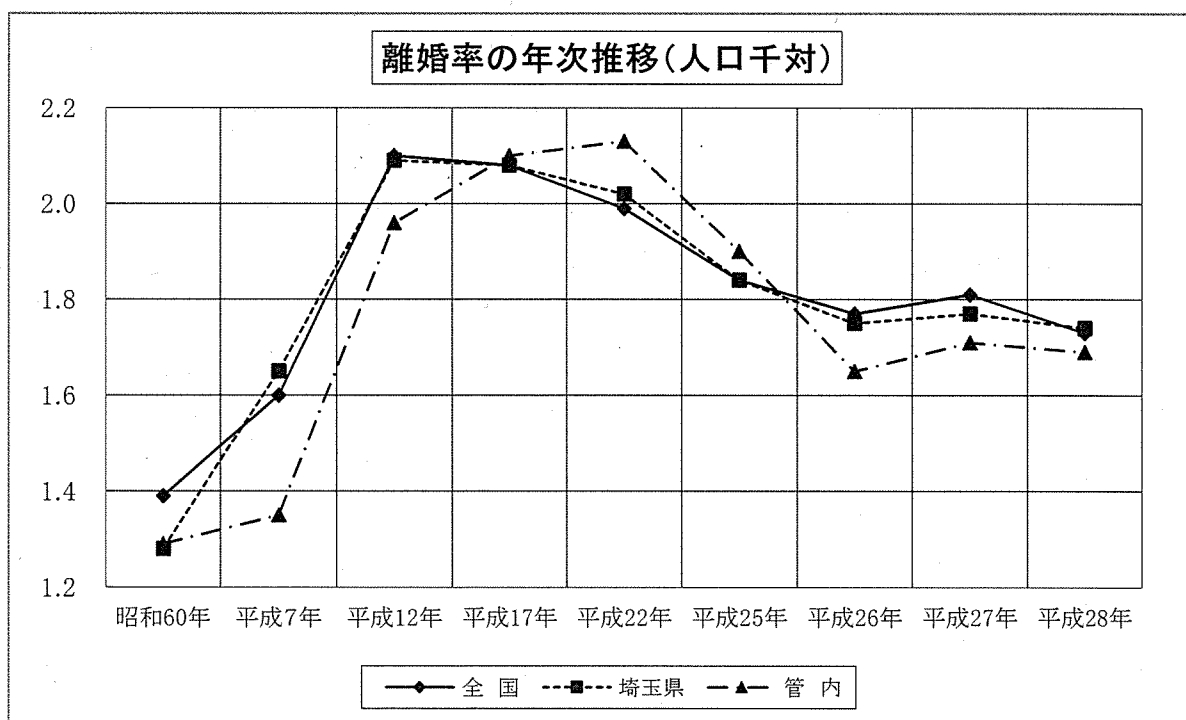
	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	6.1	6.4	6.4	5.7	5.5	5.3	5.1	5.1	5.0
埼 玉 県	5.7	6.9	6.6	5.8	5.5	5.1	4.9	4.9	4.8
管 内	5.0	5.4	5.4	4.8	4.5	3.9	3.9	3.6	3.7
坂 戸 市	5.6	6.3	6.4	5.7	4.5	3.9	4.0	3.7	3.7
鶴ヶ島市	5.6	6.5	6.9	5.8	5.6	4.4	4.7	4.4	4.4
毛呂山町	4.3	4.0	4.7	3.7	3.3	3.3	3.1	2.8	3.1
越 生 町	3.9	4.7	3.9	3.7	4.0	3.6	3.7	2.4	3.0
鳩 山 町	3.2	3.2	3.1	2.8	2.4	2.5	2.6	2.0	2.7



(8) 離婚

離婚率の年次推移（人口千対）

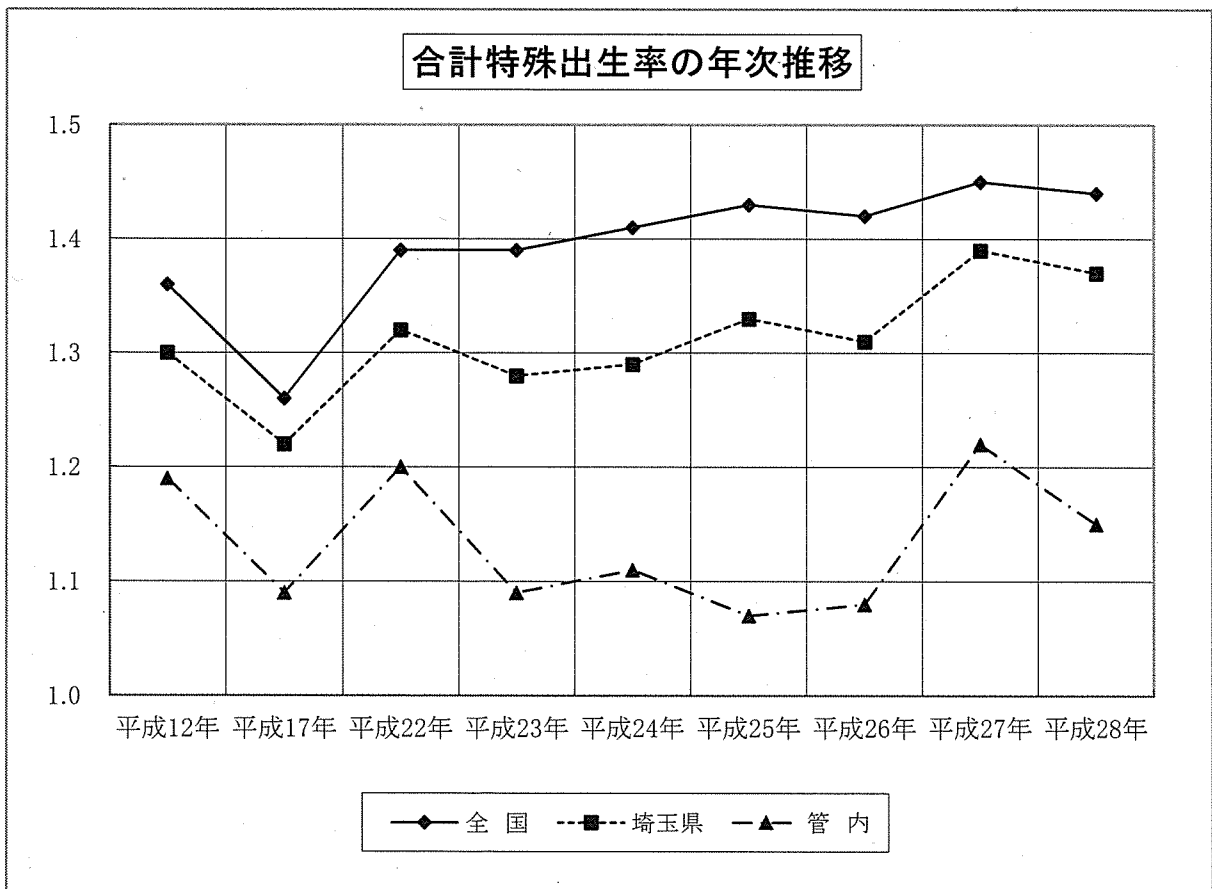
	昭和60年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	1.39	1.60	2.10	2.08	1.99	1.84	1.77	1.81	1.73
埼 玉 県	1.28	1.65	2.09	2.08	2.02	1.84	1.75	1.77	1.74
管 内	1.29	1.35	1.96	2.10	2.13	1.90	1.65	1.71	1.69
坂 戸 市	1.39	1.65	2.36	2.37	2.40	2.07	1.86	1.74	1.87
鶴ヶ島市	1.46	1.34	1.91	2.24	1.97	1.86	1.38	1.56	1.63
毛呂山町	1.33	1.26	1.66	2.08	2.12	1.68	1.82	2.11	1.57
越 生 町	1.20	1.10	2.11	2.48	1.93	1.82	1.42	1.46	1.83
鳩 山 町	0.72	0.78	1.06	1.38	1.31	1.51	1.18	1.33	0.92



(9) 合計特殊出生率

合計特殊出生率の年次推移

	平成12年	平成17年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	1.36	1.26	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44
埼 玉 県	1.30	1.22	1.32	1.28	1.29	1.33	1.31	1.39	1.37
管 内	1.19	1.09	1.20	1.09	1.11	1.07	1.08	1.22	1.15
坂 戸 市	1.29	1.17	1.29	1.20	1.20	1.15	1.18	1.32	1.25
鶴ヶ島市	1.23	1.18	1.32	1.15	1.19	1.15	1.17	1.30	1.22
毛呂山町	0.96	0.80	0.85	0.81	0.82	0.86	0.86	0.98	0.87
越 生 町	1.25	1.20	1.23	0.97	1.12	0.91	0.85	0.93	0.97
鳩 山 町	0.98	0.70	0.74	0.73	0.54	0.63	0.60	0.85	0.73



(10) 比率の解説

$$\text{出生率} = \frac{\text{1年間の出生数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000 \quad (\text{死因別死亡率} \times 100,000)$$

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{1年間の自然増加数 (出生数 - 死亡数)}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{1年間の乳児 (生後1年未満) の死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{1年間の新生児 (生後4週未満) 死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{1年間の後期死産数 + 1年間の早期新生児死亡数}}{\text{1年間の出生数 + 1年間の後期死産数}} \times 1,000$$

※ 後期死産数とは、妊娠22週以降の死産数をいう。
早期新生児死亡数とは、生後1週未満の死亡数をいう。

$$\text{死産率} = \frac{\text{1年間の死産数}}{\text{1年間の出産数 (出生数 + 死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{1年間の婚姻件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{1年間の離婚件数}}{\text{10月1日現在の人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{1年間の母の年齢別出生数}}{\text{10月1日現在の年齢別女性人口}} \right] \quad \begin{array}{l} \text{15歳} \sim \text{49歳までの合計} \\ \text{(5歳階級で算出)} \end{array}$$

※ 数表の記号

— 計数のない場合

… 計数不明の場合

事業概要<平成29年度実績>

平成30年9月発行

編集・発行

埼玉県坂戸保健所

〒350-0212

埼玉県坂戸市石井2327-1

電話 049-283-7815

FAX 049-284-2268

E-mail r837815@pref.saitama.lg.jp